

6. 社会との連携

6.1 学協会活動

令和 4 年度

氏名	委員会名	役職名
CRUZ NARANJO, Ana Maria	(特非) 国際総合防災学会	理事
浅野 公之	(一社) 日本建築学会	地盤震動小委員会委員
浅野 公之	公益社団法人 日本地震学会	2022 年度通常代議員
浅野 公之	公益社団法人 日本地震学会	表彰委員会委員
浅野 公之	(公社) 日本地震工学会	第 16 回日本地震工学シンポジウム運営委員会 学術部会 委員
飯尾 能久	公益社団法人 日本地震学会	2022 年度通常代議員
飯尾 能久	(公社) 日本地震学会	学生優秀発表賞選考委員会委員
五十嵐 晃	(公社) 土木学会	調査研究部門 応用力学委員会委員
五十嵐 晃	(公社) 土木学会	調査研究部門 地震工学委員会 運営幹事 会 委員兼幹事
五十嵐 晃	(公社) 土木学会	調査研究部門 地震工学委員会 委員兼幹 事
井口 敬雄	日本気象学会関西支部	第 34 期幹事
井口 敬雄	(公社) 日本気象学会	電子情報委員会委員
井口 敬雄	日本気象学会関西支部	第 35 期幹事
井口 正人	(特非) 日本火山学会	国際委員会委員
池田 芳樹	(一社) 日本建築学会	第 22 期代議員
池田 芳樹	(一社) 日本建築学会	建物健全性モニタリング小委員会委員
池田 芳樹	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 大会実 行委員会 広報部会部会長
池田 芳樹	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 大会委 員会幹事
伊藤 喜宏	公益社団法人 日本地震学会	2022 年度通常代議員
岩田 知孝	公益社団法人 日本地震学会	2022 年度通常代議員
岩田 知孝	公益社団法人 日本地震学会	強震動委員会委員
上田 恭平	(公社) 地盤工学会	Soils and Foundations 編集委員会 委員

上田 恭平	(公社) 土木学会	調査研究部門 構造工学委員会 構造工学 論文集編集小委員会 委員
上田 恭平	日本自然災害学会	学術委員会委員長
上田 恭平	(公社) 土木学会	調査研究部門/地震工学委員会/地盤の過剰間 隙水圧上昇と消散に伴う変形の評価に関す る研究小委員会 委員
上田 恭平	(公社) 地盤工学会	第 8 回 ICEGE (国際地盤地震工学会議) 実 行委員会 幹事
上田 恭平	(公社) 地盤工学会関西支部	商議員
上田 恭平	日本自然災害学会	選挙管理委員会 委員
上田 恭平	(公社) 土木学会	調査研究部門 原子力土木委員会 委員会 顧問
上田 恭平	(公社) 土木学会	調査研究部門 原子力土木委員会 技術文 書審議タスク (地中建造物の耐震性能照査 高度化小委員会担当) メンバー
渦岡 良介	(公社) 土木学会	調査研究部門/土木学会論文集編集委員会/C 分冊編集小委員会 委員長
渦岡 良介	(公社) 地盤工学会	代議員
渦岡 良介	(公社) 地盤工学会	災害連絡会議地方委員 (関西) 及び京都府 地方連絡委員
渦岡 良介	(公社) 土木学会	調査研究部門 地盤工学委員会 小委員長
渦岡 良介	(公社) 地盤工学会	業務執行理事 副会長
渦岡 良介	(公社) 土木学会関西支部	商議員
渦岡 良介	(公社) 土木学会	調査研究部門/地震工学委員会/地盤の過剰間 隙水圧上昇と消散に伴う変形の評価に関す る研究小委員会 委員
渦岡 良介	(公社) 地盤工学会	第 8 回 ICEGE (国際地盤地震工学会議) 実 行委員会 副幹事長
渦岡 良介	(公社) 地盤工学会	Soils and Foundations 編集委員会 委員長
渦岡 良介	(公社) 土木学会	総務部門 論文賞選考委員会 委員
渦岡 良介	(公社) 地盤工学会	災害連絡会議 地方連絡委員 (京都府)
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	第 41 期理事
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	企画調整委員会委員
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	天気編集委員会委員
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	学術委員会委員
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	学術委員会データ利用部会委員

榎本 剛	(公社) 日本気象学会	電子情報委員会委員
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	人材育成・男女共同参画委員会委員
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	気象研究コンソーシアム委員会委員
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	第 42 期理事
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	電子情報委員会 委員長
榎本 剛	(公社) 日本気象学会	天気編集委員会 副委員長
王 功輝	公益社団法人 日本地すべり学会関西支部	(公社) 日本地すべり学会関西支部 運営委員
王 功輝	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
大西 正光	(公社) 土木学会	土木学会論文集編集委員会・土木計画学(政策と実践) 編集小委員会 (42 小委員会) 委員
大西 正光	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
大西 正光	(公社) 土木学会関西支部	幹事
大西 正光	(公社) 土木学会関西支部	土木学会令和 4 年度全国大会実行委員会 年次学術講演会部会 共通セッション担当
大西 正光	(公社) 土木学会	建設マネジメント委員会 委員
大西 正光	(公社) 土木学会	調査研究部門 土木学会論文集編集委員会 土木計画学 (方法と技術) 編集小委員会 (41 小委員会) 委員
大西 正光	(公社) 土木学会	出版部門 出版委員会 委員
大西 正光	(公社) 土木学会関西支部	関西土木工学交流発表会実行委員会委員
大西 正光	(公社) 土木学会	調査研究部門 建設マネジメント小委員会 特別小委員会 2024 年働き方改革小委員会 副小委員長
小坂田 ゆかり	(公社) 砂防学会	気候変動により激甚化する土砂災害に関する研究小委員会委員
川池 健司	日本自然災害学会	評議員
川池 健司	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 委員兼幹事
川池 健司	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 水工学論文集編集小委員会 委員
川池 健司	(公社) 土木学会	調査研究部門 地下空間研究委員会 防災小委員会 委員
川池 健司	日本自然災害学会	企画委員会 委員
川池 健司	日本自然災害学会	防災学術連携体特別委員会 委員

川池 健司	日本自然災害学会	選挙管理委員会 委員長
倉田 真宏	(一社) 日本建築学会	鋼構造座屈小委員会委員
倉田 真宏	(一社) 日本建築学会	鋼構造次世代設計規準検討小委員会委員
倉田 真宏	(公社) 日本地震工学会	第 16 回日本地震工学シンポジウム運営委員会 学術部会 委員
倉田 真宏	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 大会実行委員会 広報部会幹事
後藤 浩之	(公社) 土木学会	調査研究部門 地震工学委員会 地震被害調査小委員会 幹事長
後藤 浩之	(公社) 地盤工学会	第 8 回 ICEGE (国際地盤地震工学会議) 実行委員会 委員
佐山 敬洋	(公社) 土木学会	総務部門全国大会委員会 関西支部委員
佐山 敬洋	(公社) 土木学会関西支部	幹事 主査
佐山 敬洋	(公社) 土木学会関西支部	地域貢献事業運営委員会 主査
佐山 敬洋	(公社) 土木学会関西支部	2022 年度全国大会準備委員会 総務主査
佐山 敬洋	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 委員兼幹事
佐山 敬洋	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員長
佐山 敬洋	(公社) 土木学会関西支部	幹事
佐山 敬洋	(公社) 土木学会関西支部	土木学会令和 4 年度全国大会実行委員会 総務部会 本部委員会担当
澁谷 拓郎	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
志村 智也	(公社) 土木学会	調査研究部門 海岸工学委員会 戦略ワーキンググループ オブザーバー
志村 智也	(公社) 土木学会	調査研究部門 海岸工学委員会 沿岸災害デジタルツイン研究小委員会 委員
徐 培亮	国際測地学・地球物理学連合学会	IUGG 若手科学者受賞選考委員会委員
徐 培亮	中国地球物理学会	Chinese Journal of Geophysics の編集委員会委員
角 哲也	(一社) ダム工学会	副会長
関口 春子	日本自然災害学会	評議員
関口 春子	公益社団法人 日本地震学会	2022 年度通常代議員
竹林 洋史	(公社) 土木学会	調査研究部門 地盤工学委員会 火山工学研究小委員会
竹林 洋史	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 委員兼幹事

竹林 洋史	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 環境水理部 会 部会長
竹林 洋史	(公社) 土木学会	調査研究部門 環境システム委員会 委員
竹林 洋史	(公社) 砂防学会	気候変動により激甚化する土砂災害に関する研究小委員会委員
竹林 洋史	(公社) 砂防学会	研究開発部会・部会員
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	第 41 期理事
竹見 哲也	(一社) 日本風工学会	理事
竹見 哲也	一般社団法人日本風工学会	編集・広報委員会委員
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	企画調整委員会委員
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	気象集誌編集委員会委員
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	SOLA 編集委員会委員
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	小倉奨励賞候補者推薦委員会委員
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	気象災害委員会委員
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	部外表彰等候補者推薦委員会委員
竹見 哲也	(公社) 土木学会	調査研究部門 構造工学委員会 第 27 回風 工学シンポジウム運営委員会 査読委員会 委員
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	第 42 期理事
竹見 哲也	(公社) 日本気象学会	SOLA 編集委員会 委員長
竹見 哲也	(一社) 日本風工学会	運営・学術委員会委員
竹門 康弘	応用生態工学会	理事
多々納 裕一	日本自然災害学会	理事 及び 評議員
多々納 裕一	(特非) 国際総合防災学会	理事
多々納 裕一	日本自然災害学会	企画委員会 委員長
田中 賢治	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 委員
田中 賢治	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 水工学論文 集編集小委員会 委員兼幹事
土井 一生	公益社団法人 日本地すべり 学会関西支部	(公社) 日本地すべり学会関西支部 運営 委員
土井 一生	日本自然災害学会	学術講演会部会 部会員

土井 一生	公益社団法人 日本地震学会	広報委員会委員
土佐 尚子	特定非営利活動法人日本バーチャルリアリティ学会	評議員
中北 英一	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 顧問
中北 英一	(公社) 日本気象学会	第 42 期岸保・立平賞候補者推薦委員会委員
長嶋 史明	(公社) 日本地震工学会	論文集編集委員会 委員
中野 元太	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
中道 治久	(特非) 日本火山学会	理事
中道 治久	(特非) 日本火山学会	事業委員会委員及び庶務委員会委員
中道 治久	(特非) 日本火山学会	国際委員会委員・事業委員会委員・大会委員会委員
西嶋 一欽	(一社) 日本風工学会	理事
西嶋 一欽	(一社) 日本建築学会	信頼性工学利用小委員会 委員
西嶋 一欽	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会 委員
西嶋 一欽	(一社) 日本建築学会	津波荷重改定小委員会 委員
西嶋 一欽	(一社) 日本建築学会	風荷重小委員会 委員
西嶋 一欽	(一社) 日本風工学会	風災害調査連絡委員会 主査
西嶋 一欽	(一社) 日本風工学会	風災害研究会主査
西嶋 一欽	(一社) 日本風工学会	実大ストームシミュレータに関する国内外動向調査研究会主査
西嶋 一欽	(一社) 日本風工学会	将来構想 WG 副査
西嶋 一欽	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 大会実行委員会 総務部会幹事
西村 卓也	公益社団法人 日本地震学会	2022 年度役員代議員
西村 卓也	公益社団法人 日本地震学会	海外渡航旅費助成金審査委員会委員
西村 卓也	(公社) 日本地震学会	表彰委員会委員
西村 卓也	(公社) 日本地震学会	理事
畑山 満則	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
馬場 康之	(公社) 土木学会	調査研究部門/地下空間研究委員会 委員

馬場 康之	(公社) 土木学会	調査研究部門 地下空間研究委員会 防災小委員会委員長
廣井 慧	(一社) 情報処理学会	コンシューマ・デバイス&システム (CDS) 研究会幹事
廣井 慧	日本自然災害学会	学術委員会委員
廣井 慧	日本災害情報学会	企画委員会委員
廣井 慧	(一社) 情報処理学会	IPSJ-ONE 2022 企画・実施委員会 委員長
深畑 幸俊	(公社) 日本地震学会	代議員
藤田 正治	(公社) 砂防学会	第 6 期理事
藤見 俊夫	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
堀 智晴	(一社) 水文・水資源学会	理事・2022年度大会実行委員会委員長
堀 智晴	(公社) 土木学会関西支部	2022年度全国大会準備委員会委員
堀 智晴	(公社) 土木学会	調査研究部門/水工学委員会/水工学論文集編集小委員会 委員
堀 智晴	(公社) 土木学会関西支部	土木学会令和4年度全国大会実行委員会特別講演会 部会長
堀 智晴	日本水文科学会	優秀発表賞選考委員
堀 智晴	(一社) 水文・水資源学会	理事
堀 智晴	(一社) 水文・水資源学会	総会・研究発表会企画小委員会委員
堀 智晴	(一社) 水文・水資源学会	副会長
牧 紀男	日本自然災害学会	評議員
牧 紀男	(一社) 日本建築学会	災害対策・復興の手法構築小委員会 委員
牧 紀男	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
松島 信一	日本自然災害学会	理事
松島 信一	(公社) 日本地震工学会	公益社団法人 日本地震工学会 理事
松島 信一	(一社) 日本建築学会	地盤震動小委員会委員
松島 信一	(一社) 日本建築学会	地震荷重外力小委員会委員
松島 信一	(公社) 日本地震工学会	論文集編集委員会 委員
松島 信一	日本自然災害学会	災害調査部会 部会員

松島 信一	公益社団法人 日本地震学会	2022 年度役員代議員
松島 信一	公益社団法人 日本地震学会	強震動委員会委員長
松島 信一	公益社団法人 日本地震学会	広報委員会委員
松島 信一	(公社) 日本地震工学会	第 16 回日本地震工学シンポジウム運営委員会 会行事企画部会 部会長
松島 信一	(公社) 日本地震学会	理事
松島 信一	(公社) 日本地震学会	災害調査委員会委員
松島 信一	(一社) 日本建築学会	2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 大会実行委員会 総務部会幹事
丸山 敬	一般社団法人日本風工学会	風災害調査連絡委員会委員
丸山 敬	一般社団法人日本風工学会	風災害研究会委員
丸山 敬	一般社団法人日本風工学会	表彰委員会委員
丸山 敬	(一社) 日本風工学会	表彰委員会委員
丸山 敬	(一社) 日本風工学会	太陽光発電システム風荷重・耐風性能評価研究会委員
丸山 敬	(一社) 日本風工学会	風災害研究会委員
宮澤 理稔	公益社団法人 日本地震学会	2022 年度通常代議員
宮田 秀介	(一社) 日本森林学会	日本森林学会 Joernal of Forest Research 常任編集委員
宮田 秀介	(公社) 砂防学会	砂防学会誌英文誌編集委員会委員
森 信人	(公社) 日本気象学会	気象集誌・SOLA 合同特別号編集部会員
森 信人	(公社) 土木学会	調査研究部門 海岸工学委員会 戦略ワーキンググループ委員
森 信人	(公社) 土木学会	調査研究部門/海岸工学委員会 副委員長
森 信人	アメリカ土木学会 (ASCE)	Coastal Engineering Research Council Committee member
森 信人	(公社) 土木学会	土木グローバル化総合委員会 土木工学における学術研究活動国際化ビジョン検討小委員会 委員
森 信人	(公社) 土木学会	調査研究部門 海岸工学委員会 沿岸災害デジタルツイン研究小委員会 小委員長
山口 弘誠	(一社) 水文・水資源学会	編集出版委員会委員
山口 弘誠	(公社) 土木学会	調査研究部門 水工学委員会 委員
山口 弘誠	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員

山崎 健一	地球電磁気・地球惑星圏学会	分科会 Conductivity Anomaly(CA)研究会 幹事補佐
山崎 新太郎	公益社団法人 日本地すべり学会関西支部	(公社) 日本地すべり学会関西支部 運営委員
山田 大志	(特非) 日本火山学会	庶務委員会委員
山田 真史	(一社) 日本建築学会	津波荷重改定小委員会 津波荷重シミュレーションWG委員
山田 真澄	公益社団法人 日本地震学会	2022 年度通常代議員
山田 真澄	(公社) 日本地震学会	学生優秀発表賞選考委員会委員
山野井 一輝	(公社) 砂防学会	第 5 期 (公社) 砂防学会「国際部会・部会員」
山野井 一輝	日本自然災害学会	学術委員会委員
山野井 一輝	(公社) 砂防学会	気候変動により激甚化する土砂災害にかんする研究小委員会委員
山野井 一輝	(公社) 砂防学会	令和 4 年度 (公社) 砂防学会研究発表会「宮崎大会」オンライン部会 部会員
山野井 一輝	(公社) 砂防学会	第 6 期 (公社) 砂防学会「砂防学会誌英文誌編集委員会委員」
山野井 一輝	(公社) 砂防学会	第 6 期 (公社) 砂防学会「国際部会・部会員」
矢守 克也	日本自然災害学会	理事 及び 評議員
矢守 克也	日本災害復興学会	理事 (会長)
矢守 克也	(特非) 国際総合防災学会	理事
矢守 克也	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
矢守 克也	地区防災計画学会	理事 (副会長)
横松 宗太	日本自然災害学会	評議員
吉田 聡	(公社) 日本気象学会	第 41 期監事
吉田 聡	(公社) 日本気象学会	電子情報委員会委員
吉田 聡	(公社) 日本気象学会	人材育成・男女共同参画委員会委員
吉田 聡	(公社) 日本気象学会	人材育成・男女共同参画委員会 副委員長
米山 望	日本自然災害学会	評議員
米山 望	日本自然災害学会	理事
米山 望	日本自然災害学会	日本自然災害学会 学術講演会部会 部会長

米山 望	(公社) 土木学会	調査研究部門 原子力土木委員会委員
米山 望	(公社) 土木学会	調査研究部門 原子力土木委員会 津波評価小委員会 委員
米山 望	日本自然災害学会	自然災害科学編集委員会委員
米山 望	(公社) 土木学会	調査研究部門 原子力土木委員会 津波評価小委員会 津波漂流物の影響評価技術の体系化 WG 委員
渡部 哲史	(公社) 土木学会	水工学委員会 グローカル気候変動適応研究推進小委員会 委員

※その他、非公開 3 件

6.2 学術振興活動・国や地方公共団体等への協力

令和 4 年度

氏名	委員会名	役割
CRUZ NARANJO, Ana Maria	IDRiM Society	President (会長)
CRUZ NARANJO, Ana Maria	京都大学工学部	非常勤講師
CRUZ NARANJO, Ana Maria	Institution of Chemical Engineers	a member of the Editorial Board of the Journal of Loss Prevention in the Process Industries (JLPPI)
KANTOUSH, Sameh Ahmed	京都大学工学部	非常勤講師
KANTOUSH, Sameh Ahmed	株式会社アンジェロセック	独立行政法人国際協力機構「ヨルダン国 ASEZ 都市開発マスタープラン更新プロジェクト」における洪水管理/気候変動専門家業務
LAHOURNAT, Florence	京都大学工学部	非常勤講師
ROUET-LEDUC, Bertrand Philippe Gerard	Geolabe LLC	Advisor for technology development related to automated analysis of InSAR data
SAMADDAR, Subhajyoti	京都大学工学部	非常勤講師
浅野 公之	関西地震観測研究協議会	幹事及び地震記録分科会副主査
浅野 公之	京都大学生生活協同組合	理事
浅野 公之	京都大学理学部	非常勤講師
飯尾 能久	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部地震調査委員会委員
飯尾 能久	特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム	理事
飯尾 能久	新潟大学理学部	非常勤講師
飯尾 能久	国立大学法人九州大学大学院理学研究院	客員教授
五十嵐 晃	(一財)防災研究協会	非常勤研究員
五十嵐 晃	京都大学工学部	非常勤講師
五十嵐 晃	国土交通省近畿地方整備局	橋梁ドクター
五十嵐 晃	国土交通省鉄道局	新幹線の地震対策に関する検証委員会委員
五十嵐 晃	公益財団法人鉄道総合技術研究所	リサーチアドバイザー

井口 正人	鹿児島県危機管理防災局危機管理課	桜島火山防災協議会構成員、薩摩硫黄島火山防災協議会構成員、口永良部島火山防災協議会構成員、諏訪之瀬島火山防災協議会構成員
井口 正人	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
井口 正人	(国交) 九州地方整備局	緊急災害対策派遣ドクター (TEC-Doctor)
井口 正人	気象庁	火山噴火予知連絡会委員
井口 正人	気象庁地震火山部	火山観測体制等に関する検討会委員
井口 正人	気象庁地震火山部	火山活動評価検討会委員
井口 正人	鹿児島市	鹿児島市火山防災アドバイザー委員
井口 正人	鹿児島市	鹿児島市防災会議委員
井口 正人	日本学術会議事務局	地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAVCEI 小委員会委員
井口 正人	気象庁	火山噴火予知連絡会口永良部島部会部会長
井口 正人	(国研) 防災科学技術研究所	経営諮問会議委員
井口 正人	鹿児島大学理学部	非常勤講師
井口 正人	(国研) 防災科学技術研究所	客員研究員
井口 正人	第十管区海上保安本部	第十管区海上保安本部が実施する火山活動監視観測への協力
井口 正人	(国研) 科学技術振興機構	国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 令和4年度国内領域別評価会委員
井口 正人	(国研) 科学技術振興機構	国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 推進委員
井口 正人	京都大学理学部	非常勤講師
井口 正人	(国大) 東京大学地震研究所	地震・火山噴火予知研究協議会委員
井口 正人	(独) 国際協力機構	トンガ火山噴火災害ハザードに係る有識者
井口 正人	(国研) 科学技術振興機構	国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 研究主幹
井口 正人	鹿児島県	鹿児島県原子力安全・避難計画等防災専門委員会委員
池田 芳樹	(公財) 増屋記念基礎研究振興財団	助成金交付審査委員会 委員
池田 芳樹	京都大学工学部	非常勤講師
伊藤 喜宏	京都大学理学部	非常勤講師

伊藤 喜宏	株式会社 H3	フェロー
伊藤 喜宏	(国研) 海洋研究開発機構	研究航海検討委員会アドバイザー
岩田 知孝	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部地震調査委員会委員
岩田 知孝	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部地震調査委員会委員 (調査観測計画部会)
岩田 知孝	島根県	島根県原子力安全顧問
岩田 知孝	(一財) 地域地盤環境研究所	評議員
岩田 知孝	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
岩田 知孝	関西地震観測研究協議会	座長、幹事および地震記録分科会
岩田 知孝	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部政策委員会委員
岩田 知孝	京都大学理学部	非常勤講師
岩田 知孝	大阪府	令和 4 年度 IR 予定区域等における液状化対策に関する専門家会議 委員
上田 恭平	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
上田 恭平	(一社) FLIP コンソーシアム	理事及び特別顧問 (社員)
上田 恭平	Institute of Geotechnical Engineering, Zhejiang University	Adjunct Professor on the program "Hypergravity Centrifuge Simulation and Experimental Devices"
上田 恭平	京都大学工学部	非常勤講師
上田 恭平	Institute of Geotechnical Engineering, Zhejiang University	Adjunct Associate Professor
渦岡 良介	(国研) 海洋研究開発機構	「富岳」成果創出加速プログラム「大規模数値シミュレーションによる地震発生から地震動・地盤増幅評価までの統合的予測システムの構築とその社会実装」諮問委員会委員
渦岡 良介	大阪府	大阪府建設工事総合評価等審査会 委員
渦岡 良介	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
渦岡 良介	大阪府	大阪府河川構造物等審議会 委員
渦岡 良介	一般財団法人建設工学研究振興会	非常勤研究員
渦岡 良介	西日本高速道路 (株)	西日本高速道路株式会社関西支社等入札監視委員会委員
渦岡 良介	西日本高速道路 (株) 関西支社	技術アドバイザー
渦岡 良介	京都大学工学部	非常勤講師

渦岡 良介	国立大学法人徳島大学	非常勤講師
渦岡 良介	一般社団法人 LIQCA 液状化地盤研究所	理事
渦岡 良介	PDC コンソーシアム	学識者委員会委員
渦岡 良介	西日本高速道路 (株)	NEXCO 西日本グループ業務点検アドバイザー 会議委員
榎本 剛	気象庁大気海洋部	異常気象分析作業部会委員
榎本 剛	(国研) 海洋研究開発機構	招聘上席研究員
榎本 剛	神戸大学大学院理学研究科	神戸大学大学院理学研究科附属惑星科学研究センター協力研究員
王 功輝	京都市消防局	京都市災害時アドバイザー制度
王 功輝	京都市防災会議、京都市	京都市防災会議専門委員会専門委員
王 功輝	(国交) 近畿地方整備局 大和川河川事務所	亀の瀬地すべり保全方策検討委員会 委員
王 功輝	西日本高速道路 (株) 関西支社 福知山高速道路事務所	舞鶴若狭自動車道 関屋地区道路構造検討会 委員
大西 正光	University of Delaware	an associate editor of the ASCE Journal of Infrastructure Systems
大西 正光	(国交) 近畿地方整備局 近畿技術事務所	地質リスクを踏まえた事業マネジメント勉強会 会員
大西 正光	福知山市	福知山市入札制度改革等検討委員会委員
大西 正光	大阪市水道局	大阪市工業用水道施設運営事業有識者会議委員
大西 正光	京都大学工学部	非常勤講師
大西 正光	(国大) 愛媛大学	非常勤講師
大西 正光	内閣府	民間資金等活用事業推進委員会 専門委員
大西 正光	株式会社 H3	フェロー
大西 正光	神戸市	神戸港湾審議会 委員
大西 正光	(一財) 北海道道路管理技術センター	「道路勉強会」講師
大西 正光	(一財) 国土技術研究センター	有識者委員
大西 正光	京都府建設交通部河川課	木津川・桂川・宇治川圏域河川整備計画検討委員会委員

大西 正光	(一財) 先端建設技術センター	「令和 4 年度建設発生土の有効利用マッチング促進ワーキンググループ」委員
大見 士朗	飛騨山脈ジオパーク推進協議会	飛騨山脈ジオパーク推進協議会 顧問
大見 士朗	長野県防災会議	長野県防災会議専門委員
大見 士朗	中ノ湯地区安全管理協議会	技術検討委員
大見 士朗	京都大学理学部	非常勤講師
大見 士朗	乗鞍岳火山防災協議会	乗鞍岳火山防災協議会 会員
大見 士朗	焼岳火山防災協議会	焼岳火山防災協議会会員
岡田 夏美	神戸学院大学	非常勤講師
岡田 夏美	龍谷大学	非常勤講師
小坂田 ゆかり	医療法人社団 小坂田医院	法人理事
小坂田 ゆかり	大阪工業大学	非常勤講師
片尾 浩	生駒市	生駒市防災会議委員
片尾 浩	特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム	理事
片尾 浩	国立大学法人大阪教育大学	非常勤講師
川池 健司	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
川池 健司	奈良県	奈良県河川整備委員会委員
川池 健司	日本学術会議事務局	日本学術会議委員 (土木工学・建築学委員会気候変動と国土分科会流域治水に資する建築物の耐水設計検討小委員会委員)
川池 健司	京都府	京都府流域下水道事業経営審議会委員
川池 健司	京都府建設交通部河川課	鴨川フォローアップ委員会委員
川池 健司	京都大学工学部	非常勤講師
川池 健司	京都市消防局	京都市消防局指定管理者選定委員会委員
川池 健司	京都府教育委員会	京都府立桃山高等学校「スーパーサイエンスハイスクール」運営指導委員
川池 健司	京都府宇治市役所	(仮) 宇治市未来につなぐ都市づくりプラン検討委員会委員
川池 健司	滋賀県近江八幡市	近江八幡市地下道冠水に伴う事故検証委員会委員

川池 健司	堺市上下水道局	浸水被害に対する意見聴取
倉田 真宏	(一社) 日本鋼構造協会 関西地区連絡会委員会	研究小委員会 鋼部材の施行・製作における情報技術利用に関する調査委員会 委員
倉田 真宏	(国研) 防災科学技術研究所	「E-ディフェンスの新たな展開を考える検討会」委員
倉田 真宏	株式会社全国鉄骨評価機構	鉄骨製作工場性能評価員
倉田 真宏	城陽市	城陽市都市計画審議会委員
倉田 真宏	京都大学工学部	非常勤講師
倉田 真宏	株式会社 H3	フェロー
倉田 真宏	Oregon State University College of Engineering	a member of the Functional Recovery Project Advisory Committee
倉田 真宏	Oregon State University College of Engineering	a position of Technical Advisor on NSF project, “Collaborative research:Converging Design Methodology - Multi-objective Optimization of Resilient Structural Spines”
小柴 孝太	摂南大学	非常勤講師
後藤 浩之	関西地震観測研究協議会	幹事、地震防災教育 WG 主査、広報分科会副主査、速報システム分科会副主査
後藤 浩之	京都大学工学部	非常勤講師
後藤 浩之	KG-NET・関西圏地盤研究会	KG-NET・関西圏地盤研究会 学識委員
後藤 浩之	(一財) 阪神高速先進技術研究所	耐震技術検討委員会 委員
後藤 浩之	高圧ガス保安協会	液状化地盤中の杭基礎及び耐震設計設備の地震時挙動の評価等検討ワーキンググループ委員
境 有紀	損害保険料率算出機構	地震災害予測研究会委員
境 有紀	(国研) 建築研究所	国際地震工学研修・普及会議委員
境 有紀	京都大学工学部	非常勤講師
境 有紀	(国研) 建築研究所	国際地震工学研修カリキュラム部会委員
境 有紀	応用地質株式会社 地球環境事業部	令和 4 年度災害廃棄物発生量の推計精度向上のための方策検討会 委員
境 有紀	(国研) 建築研究所	講師
佐山 敬洋	日本学術会議事務局	日本学術会議委員 (土木工学・建築学委員会気候変動と国土分科会流域治水に資する建築物の耐水設計検討小委員会委員)
佐山 敬洋	文部科学省	日本ユネスコ国内委員会科学小委員会調査委員
佐山 敬洋	公立大学法人大阪	非常勤講師

佐山 敬洋	京都大学工学部	非常勤講師
佐山 敬洋	株式会社 H3	フェロー
佐山 敬洋	東京海上ディーアール株式会社	水災リスク評価モデル開発に係るアドバイザー
佐山 敬洋	(一財)建設工学研究所	武庫川水系評価業務 検討委員会委員
佐山 敬洋	サントリーグローバルイノベーションセンター(株)	流出解析に関する研究活動のアドバイザー
佐山 敬洋	株式会社三菱総合研究所	令和4年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会の委員
佐山 敬洋	国土交通省 水管理・国土保全局	「気候関連情報開示における物理的リスク評価に関する懇談会」委員
澤田 純男	国土交通省近畿地方整備局 阪神高速道路株式会社	大阪湾岸道路西伸部技術検討委員会委員
澤田 純男	(一財)地域地盤環境研究所	理事
澤田 純男	(一財)防災研究協会	非常勤研究員
澤田 純男	箕面市	北大阪急行線延伸技術検討会構成員
澤田 純男	関西地震観測研究協議会	幹事及び速報システム分科会主査
澤田 純男	阪神高速道路株式会社	2021・2022年度 構造技術委員会委員
澤田 純男	阪神高速道路株式会社	2021・2022年度 構造技術委員会 耐震設計分科会 委員
澤田 純男	京都府	京都府防災会議 地域防災の見直し部会 委員
澤田 純男	関西ライフライン研究会	監事
澤田 純男	京都大学工学部	非常勤講師
澤田 純男	KG-NET・関西圏地盤研究会	KG-NET・関西圏地盤研究会 学識委員
澤田 純男	(一財)地域地盤環境研究所	大阪 IR 液状化対策 WG 委員会専門委員
澤田 純男	国土交通省鉄道局	新幹線の地震対策に関する検証委員会委員
澁谷 拓郎	(国大)東京大学地震研究所	地震・火山噴火予知研究協議会委員
志村 智也	摂南大学	非常勤講師
志村 智也	京都大学工学部	非常勤講師
徐 培亮	国際測地学協会	国際測地学協会誌 Journal of Geodesy の副編集長

徐 培亮	Geodesy and Geodynamics	an editorial board member of Geodesy and Geodynamics
角 哲也	(公財) 河川財団	理事
角 哲也	(一財) 水源地環境センター	水源地生態研究会 ダム下流生態系研究部会委員
角 哲也	一般社団法人 日本建設機械施工協会 関西支部	水工技術委員会 委員長
角 哲也	(一財) ダム技術センター	理事 (非常勤)
角 哲也	(一社) 日本大ダム会議	国際分科会「貯水池堆砂委員会」委員
角 哲也	京都府	国土利用計画審議会委員
角 哲也	株式会社 建設技術研究所	研究アドバイザー
角 哲也	電源開発株式会社	瀬戸石ダム 通砂/排砂に関する有識者ヒアリング 委員
角 哲也	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
角 哲也	佐世保市水道事業及び下水道事業	佐世保市アセットマネジメント推進専門別部会委員
角 哲也	国土交通省国土技術政策総合研究所	国土技術政策総合研究所研究評価委員会 委員
角 哲也	近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 大戸川ダム工事事務所 独立行政法人水資源機構 関西・吉野川支社	淀川水系ダム事業費等監理委員会委員
角 哲也	国土交通省北陸地方整備局	黒部川水系流域委員会委員
角 哲也	(一社) 日本大ダム会議	技術委員会 委員
角 哲也	(一社) 日本大ダム会議	技術委員会 既設ダムの合理的な活用・運用方策検討分科会 委員長
角 哲也	国土交通省近畿地方整備局、福井県	九頭竜川流域懇談会委員
角 哲也	(一財) 水源地環境センター	評議員
角 哲也	(国交) 近畿地方整備局	近畿地方整備局土木機械設備診断委員会委員
角 哲也	(国交) 北陸地方整備局	黒部川ダム排砂評価委員会委員
角 哲也	関西広域連合	琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会委員
角 哲也	独立行政法人水資源機構	総合評価審査委員会委員
角 哲也	国土交通省 水管理・国土保全局	河川技術評価委員会委員

角 哲也	(国交) 近畿地方整備局、(独) 水資源機構	近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会委員
角 哲也	(国交) 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所	九頭竜川水系足羽川ダム事業費等監理委員会委員
角 哲也	(国交) 中部地方整備局 豊橋河川事務所、矢作ダム管理所	矢作川水系総合土砂管理検討委員会委員
角 哲也	(独) 国際協力機構 東南アジア・大洋州部	インドネシア国ブランタス川流域におけるスタミダム再生事業準備調査 国内支援委員会 委員長
角 哲也	福井県大野市	大野市水循環推進協議会 委員
角 哲也	電源開発株式会社	二津野ダム下流土砂還元検討委員会 委員長
角 哲也	(一財) 水源地環境センター	ダム土砂マネジメント研究会 委員
角 哲也	京都大学工学部	非常勤講師
角 哲也	(国交) 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所	木津川上流河川環境研究会委員
角 哲也	独立行政法人水資源機構	川上ダムモニタリング部会 委員
角 哲也	(一財) 近畿市町村災害復旧相互支援機構	評議員
角 哲也	電源開発株式会社	瀬戸石ダム 通砂/排砂に関する有識者ヒアリング委員
角 哲也	(国交) 中部地方整備局 天竜川ダム統合管理事務所	小渋ダム土砂バイパストンネルモニタリング委員
角 哲也	電源開発株式会社 水力発電部中部支店	船明ダム下流洗掘対策に関するフォローアップ委員会 委員長
角 哲也	京都府南丹土木事務所	環境及び治水に配慮した霞堤のあり方に係るアドバイザー
角 哲也	長野県松川ダム管理事務所	松川ダム堆砂対策懇談会構成員
角 哲也	(公財) リバーフロント研究所	河川・海岸環境機能等検討委員会 委員
角 哲也	株式会社日本総合研究所 創発戦略センター	アドバイザー
角 哲也	国土交通省水管理・国土保全局	熊本水イニシアティブを踏まえた国際展開検討委員会委員
角 哲也	(独) 水資源機構 木津川ダム総合管理事務所	布目ダム総合点検に係る専門家

角 哲也	国土交通省近畿地方整備局 技術スペシャリスト会議 運営委員会	技術スペシャリスト会議 機械技術研究会 アドバイザー
角 哲也	国土交通省近畿地方整備局 技術スペシャリスト会議 運営委員会	技術スペシャリスト会議 ダム技術研究会 アドバイザー
角 哲也	国土交通省	社会資本整備審議会臨時委員及び交通政策審議会臨時委員
角 哲也	日本工営株式会社 東京支店	農業用堰環境影響評価参考図書（素案）作成に係る有識者意見聴取会委員
角 哲也	(一財)日本水土総合研究所	永源寺ダム排砂バイパス技術検討会座長および近江東部地区総合堆砂対策技術検討委員会委員
角 哲也	(国交)近畿地方整備局 大戸川ダム工事事務所	大戸川ダム環境保全委員会委員
角 哲也	(一財)ダム技術センター	耳川水系ダム通砂技術検討委員会 河川生態環境ワーキンググループ座長
角 哲也	(一財)ダム技術センター	耳川水系ダム通砂技術検討委員会 委員長
角 哲也	(国交)九州地方整備局 立野ダム工事事務所	立野ダム試験湛水検討委員会（仮称）委員
関口 春子	文部科学省研究開発局	科学技術・学術審議会臨時委員
関口 春子	(国研)防災科学技術研究所	客員研究員
関口 春子	京都市防災会議	京都市防災会議専門委員会専門委員（地震部会）
関口 春子	大阪府	大阪府防災会議委員
関口 春子	内閣府政策統括官（防災担当）	「中部圏・近畿圏直下地震モデル検討会」委員
竹林 洋史	兵庫県県土整備部土木局	武庫川水系河川整備計画フォローアップ懇話会委員
竹林 洋史	パシフィックコンサルタンツ株式会社	土砂災害危険情報サービス「どしゃブル」アドバイザー
竹林 洋史	大阪府	大阪府河川周辺地域の環境保全等審議会委員
竹林 洋史	国土交通省近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所	河川保全利用委員会（琵琶湖河川事務所）委員
竹林 洋史	iRIC 研究会	会長
竹林 洋史	京都大学工学部	非常勤講師
竹林 洋史	国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所	木津川上流河川環境研究会委員

竹林 洋史	一般財団法人 災害科学研究所	研究員
竹林 洋史	国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所	淀川環境委員
竹林 洋史	国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所	淀川イタセンパラ検討会 委員
竹林 洋史	京都府南丹土木事務所	環境及び治水に配慮した霞堤のあり方に係るアドバイザー
竹林 洋史	京都府南丹土木事務所	桂川及びその支川の河川改修等の促進に向けた地域住民によるアユモドキとの共生と保全に係るアドバイザー
竹林 洋史	(国交) 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所	野洲川瀬・淵再生事業(第一期事業)の計画等に係る助言者
竹林 洋史	一般社団法人 iRIC-UC	理事
竹林 洋史	Feng Chia University	Distinguish Chair Professor
竹見 哲也	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
竹見 哲也	気象庁大気海洋部	異常気象分析作業部会委員
竹見 哲也	京都市	京都市環境影響評価審査会委員
竹見 哲也	損害保険料率算出機構	災害科学研究会風水害部会委員
竹見 哲也	(公社) 日本地球惑星科学連合	オンライン開催検討小委員会委員
竹見 哲也	(公社) 日本地球惑星科学連合	2022 年大会プログラム委員会副委員長
竹見 哲也	気象庁情報基盤部	数値予報モデル開発懇談会委員
竹見 哲也	気象庁	線状降水帯予測精度向上ワーキンググループ委員
竹見 哲也	気象庁気象研究所	官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)の施策「AIを用いた竜巻等突風・局地的大雨の自動予測・情報提供システムの開発」プログラムディレクター
竹見 哲也	株式会社三菱総合研究所	令和4年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会の委員
竹見 哲也	(公社) 日本地球惑星科学連合	2023 年大会プログラム委員会委員長
竹見 哲也	(公社) 日本地球惑星科学連合	2023 年大会プログラム委員会委員(日本気象学会選出)
竹見 哲也	京大オリジナル株式会社	レジリエンス&サステイナブルを踏まえた建物性能評価に関するコンサルティング業務
竹見 哲也	(国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構	プログラム・オフィサー(PO)

竹見 哲也	(国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構	NEDO 技術委員
竹門 康弘	京都府府民環境部	京都府レッドデータ改訂検討委員会 委員
竹門 康弘	一般財団法人水源地環境センター	水源地生態研究会 ダム下流生態系研究部会 部長
竹門 康弘	国土交通省近畿地方整備局	淀川水系流域委員会専門家委員会 委員(副委員長)
竹門 康弘	京都府環境審議会自然・鳥獣保護部会	希少野生生物保全専門委員会委員
竹門 康弘	電源開発株式会社	二津野ダム下流土砂還元検討委員会 委員
竹門 康弘	京都大学工学部	非常勤講師
竹門 康弘	国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所	淀川環境委員
竹門 康弘	国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所	淀川イタセンパラ検討会 委員
竹門 康弘	京都府	京都府立京都スタジアム供用に係る環境影響フォローアップ会議委員
竹門 康弘	文化庁	文化審議会専門委員(文化財分科会)
竹門 康弘	京都府南丹土木事務所	環境及び治水に配慮した霞堤のあり方に係るアドバイザー
竹門 康弘	(公財) リバーフロント研究所	河川・海岸環境機能等検討委員会 委員
竹門 康弘	近畿地方環境事務所、(一財) 日本気象協会	気候変動適応近畿広域協議会アドバイザー・構成員
竹門 康弘	国土交通省鉄道局	リニア中央新幹線静岡工区 有識者会議委員
多々納 裕一	京都先端科学大学	MS&AD デジタルカレッジ from 京都 外部講師
多々納 裕一	日本学術会議事務局	日本学術会議連携会員
多々納 裕一	IDRiM Society	Vice-President(副会長)
多々納 裕一	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
多々納 裕一	国土交通省港湾局	交通政策審議会港湾分科会臨時委員
多々納 裕一	京田辺市	京田辺市都市計画審議会委員
多々納 裕一	関西広域連合	琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会委員
多々納 裕一	滋賀県	滋賀県流域治水推進審議会委員
多々納 裕一	精華町	精華町防災会議委員、精華町国民保護協議会委員

多々納 裕一	大阪府	大阪府都市計画審議会委員
多々納 裕一	宇治市	宇治市都市計画審議会 委員
多々納 裕一	京都府	京都府防災会議 地域防災の見直し部会 委員
多々納 裕一	京都大学工学部	非常勤講師
多々納 裕一	国立研究開発法人 土木研究所	外部評価委員会 防災・減災分科会委員
多々納 裕一	奈良県	奈良県公共事業評価監視委員会 委員
多々納 裕一	株式会社三菱総合研 究所	気候変動を考慮した感染症・気象災害に対する強 靱性強化に関するマニュアル整備検討業務検討委 員会 委員
多々納 裕一	滋賀県	湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 委員
多々納 裕一	滋賀県	湖東圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 委員
多々納 裕一	滋賀県	高島地域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 委員
多々納 裕一	株式会社三菱総合研 究所	令和 4 年度 気候変動による災害激甚化に関する 影響評価検討委員会の委員
多々納 裕一	公益社団法人 2025 年 日本国際博覧会協会	「2025 年日本国際博覧会警備・防災基本計画策定 支援業務」評価委員
多々納 裕一	一般財団法人 関西 空港調査会	理事
多々納 裕一	京都府	京都府公共事業評価に係る第三者委員会委員
多々納 裕一	Oxford University Press	editorial board member of the Oxford Research Ency- clopedia of Natural Hazard Science
多々納 裕一	京都府宇治市役所	(仮) 宇治市未来につなぐ都市づくりプラン検討 委員会委員
多々納 裕一	公益社団法人 2025 年 日本国際博覧会協会	2025 年日本国際博覧会安全対策協議会 構成員
多々納 裕一	(国交) 四国地方整 備局 高知河川国道 事務所	土佐湾沿岸海岸保全施設技術検討会委員
多々納 裕一	Research Center for Disaster Risk and In- formation Manage- ment, School of Man- agement, Wuhan Uni- versity of Technology	special lecturer
多々納 裕一	株式会社高速道路総 合技術研究所	高速道路の降雨時及び強風時の通行規制に関する 検討委員会 委員長
多々納 裕一	(国交) 近畿地方整 備局 港湾空港部	令和 4 年度大阪湾港湾機能継続計画推進協議会委 員
多々納 裕一	国土交通省港湾局	交通政策審議会臨時委員
田中 賢治	日本学術会議	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・ WCRP 合同分科会 GEWEX 小委員会委員

田中 賢治	京都大学工学部	非常勤講師
田中 賢治	(独) 国際協力機構 経済開発部	農業・農村開発協力における気候変動対策の取組 に関する検討会委員 (外部有識者)
田中 賢治	農林水産省農村振興 局	農業農村整備における気候変動対策に関する検討 会委員
爲栗 健	鹿児島市	鹿児島市火山防災アドバイザー委員
爲栗 健	鹿児島大学理学部	非常勤講師
爲栗 健	京都大学理学部	非常勤講師
土井 一生	立命館大学	非常勤講師
土井 一生	関西大学	非常勤講師
土井 一生	同志社大学	理工学部 嘱託講師
土佐 尚子	京大オリジナル株式 会社	アートのイノベーションの社会実装
土佐 尚子	滋賀大学経済学部・ データサイエンス学 部	非常勤講師
土佐 尚子	(公財) 大林財団	選考委員 (助成事業)
直井 誠	(公社) 日本地球惑 星科学連合	2022 年大会プログラム委員会委員
直井 誠	(国研) 防災科学技 術研究所	客員研究員
直井 誠	(公社) 日本地球惑 星科学連合	プログラム委員会委員
中北 英一	環境省 地球環境局	中央環境審議会専門委員
中北 英一	国土交通省 中部地 方整備局	中部地方水供給リスク管理検討会 委員
中北 英一	宇治市	宇治市防災会議委員
中北 英一	九州大学応用力学研 究所	応用力学共同研究拠点運営委員会委員
中北 英一	福井県大野市	防災アドバイザー
中北 英一	国土交通省 水管 理・国土保全局	気候変動を踏まえた砂防技術検討会 委員
中北 英一	(国研) 国立環境研 究所	適応策推進のための気候変動予測・影響評価に係 る連携ワーキンググループ 委員
中北 英一	国土交通省 水管 理・国土保全局水資 源部	国土審議会専門委員
中北 英一	国土交通省 水管 理・国土保全局	河川技術評価委員会委員

中北 英一	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
中北 英一	京都大学工学部	非常勤講師
中北 英一	文部科学省研究振興局	文部科学省技術参与 (環境エネルギー科学技術研究担当) 「気候変動予測先端研究プログラム」プログラム・オフィサー
中北 英一	(国研) 土木研究所	第 9 回洪水管理国際会議国際科学技術委員会委員
中北 英一	株式会社三菱総合研究所	気候変動を考慮した感染症・気象災害に対する強靱性強化に関するマニュアル整備検討業務検討委員会 委員
中北 英一	(国研) 防災科学技術研究所	実大三次元震動破壊実験施設運営協議会委員
中北 英一	(一社) 日本鉄道施設協会	鉄道防災検討委員会 委員
中北 英一	損害保険料率算出機構	災害科学研究会 委員長
中北 英一	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	人と防災未来センター事業評価委員
中北 英一	電源開発株式会社	糠平ダム操作に関する技術検討会委員
中北 英一	日本エヌ・ユー・エス株式会社	令和 4 年度気候変動適応策の PDCA 手法検討委員会 委員
中北 英一	農林水産省農村振興局	農業農村整備における気候変動対策に関する検討会委員
中北 英一	気象庁	気候変動に関する懇談会委員
中北 英一	近畿地方環境事務所、(一財) 日本気象協会	気候変動適応近畿広域協議会アドバイザー・構成員・座長兼分科会座長
中北 英一	(国研) 宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 地球観測研究センター	地球観測に関する科学アドバイザー委員会分科会メンバー
中北 英一	みずほリサーチ&テクノロジーズ (株)	「気候変動適応における広域アクションプラン策定事業 全国アドバイザー会合」全国業務アドバイザー
中北 英一	株式会社三菱総合研究所	令和 4 年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会の委員
中北 英一	日本水大賞委員会	日本水大賞審査部会委員
中北 英一	一般財団法人 気象業務支援センター	気候変動予測先端研究プログラム領域課題 3 「日本域における気候変動予測の高度化」研究運営委員会委員
中北 英一	(一財) 河川情報センター	レーダ雨量計活用による河川情報高度化検討会 座長代理
中北 英一	(国研) 国立環境研究所	外部研究評価委員会委員

中北 英一	(国研) 海洋研究開発機構	気候変動予測先端研究プログラム カーボンバジェット評価に向けた気候予測シミュレーション技術の研究開発 (物質循環モデル) (領域課題 2) 運営委員会委員
中北 英一	日本エヌ・ユー・エス株式会社	気候変動の影響に関する WG 自然災害・沿岸域分野 WG 委員
中北 英一	東京大学地震研究所	東京大学地震研究所協議会協議委員
中北 英一	(国交) 近畿地方整備局	近畿地方整備局水文観測委員会 (委員長)
中北 英一	(国交) 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所	レーダ雨量計技術応用研究委員会 委員長
中北 英一	電源開発株式会社	ダム操作に関する技術検討会委員
中北 英一	国土交通省 北海道開発局	北海道地方における流域治水のあり方検討会委員
中北 英一	国土交通省総合政策局	交通政策審議会臨時委員
中北 英一	国土交通省総合政策局	社会資本整備審議会委員
中北 英一	文部科学省研究開発局	科学技術・学術審議会臨時委員
中野 元太	(一社) 子どものエンパワメントいわて	アドバイザー
中野 元太	株式会社 8KURASU	サポーター
中野 元太	京都大学工学部	非常勤講師
中野 元太	立命館大学	非常勤講師
中野 元太	人と防災未来センター	災害メモリアルアクション KOBE 企画委員会委員
中野 元太	立命館大学衣笠総合研究機構	立命館大学衣笠総合研究機構歴史都市防災研究所 客員協力研究員
中道 治久	文部科学省研究開発局	科学技術・学術審議会専門委員
中道 治久	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	火山研究運営委員会データ利活用推進タスクフォース委員
中道 治久	鹿児島市	鹿児島市火山防災アドバイザー委員
中道 治久	鹿児島市	鹿児島市防災・災害対策委員会委員
中道 治久	鹿児島大学理学部	非常勤講師
中道 治久	第十管区海上保安本部	第十管区海上保安本部が実施する火山活動監視観測への協力
中道 治久	京都大学理学部	非常勤講師
中道 治久	東京大学地震研究所	客員教員

中道 治久	株式会社鹿児島放送	小学生向け特別授業の一日講師
中道 治久	原子力規制庁原子力規制部	原子炉安全専門審査会臨時委員及び核燃料安全専門審査会臨時委員
中道 治久	鹿児島市 安心安全課	鹿児島市セーフコミュニティ推進協議会委員
中道 治久	ヤフー株式会社	Yahoo! ニュース公式コメンテーター
西川 友章	(大和) 情報・システム研究機構 統計数理研究所	外来研究員
西嶋 一欽	University of Waterloo	Adjunct Associate Professor
西嶋 一欽	京都大学学際融合教育研究センター次世代研究創成ユニット 若手研究者戦略育成拠点	若手研究者戦略育成拠点アドバイザーボード委員
西嶋 一欽	(一社) 建築・住宅国際機構	ISO/TC98 国内分科会 (構造物の設計の基本) 委員
西嶋 一欽	(一社) 建築・住宅国際機構	ISO/TC98/SC2/WG8 (構造設計の一般的枠組) 委員
西嶋 一欽	(一社) 建築・住宅国際機構	ISO/TC98/SC2/WG11 (構造物のリスク解析の一般原則) 委員
西嶋 一欽	(一社) 建築・住宅国際機構	ISO/TC98/SC3/WG4 (偶発作用) 委員
西嶋 一欽	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
西嶋 一欽	IG-WRDRR	副議長
西嶋 一欽	SOMPO リスクマネジメント株式会社	外部アドバイザー
西嶋 一欽	(一社) 日本免震構造協会	技術委員会 委員
西嶋 一欽	香港天文台	Scientific Advisor
西嶋 一欽	京都大学工学部	非常勤講師
西嶋 一欽	株式会社 H3	フェロー
西嶋 一欽	京大オリジナル株式会社	レジリエンス&サステイナブルを踏まえた建物性能評価に関するコンサルティング業務
西野 智研	京都市	京都市建築物安心安全実施計画推進会議委員
西野 智研	(株) 近確機構	評価員
西野 智研	京都大学工学部	非常勤講師
西野 智研	東北工業大学	ゲストスピーカー

西野 智研	株式会社 H3	フェロー
西野 智研	ヤフー株式会社	Yahoo! ニュース公式コメンテーター
西野 智研	(一社)住宅性能評価・表示協会	住宅生産技術イノベーション促進事業審査委員会分科会 臨時委員
西野 智研	(一財)日本建築防災協会	定例報告制度のあり方検討会委員
西野 智研	京大オリジナル株式会社	レジリエンス&サステイナブルを踏まえた建物性能評価に関するコンサルティング業務
西村 卓也	国土交通省国土地理院	地震予知連絡会委員
西村 卓也	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部専門委員
西村 卓也	京都大学理学部	非常勤講師
西村 卓也	(公財)地震予知総合研究振興会	南海トラフ～南西諸島海溝の地震・津波に関する研究会 委員
西村 卓也	京大オリジナル株式会社	レジリエンス&サステイナブルを踏まえた建物性能評価に関するコンサルティング業務
野田 博之	(国研)防災科学技術研究所	客員研究員
野田 博之	文部科学省研究開発局	科学技術・学術審議会 専門委員
野原 大督	中国水利水電科学研究所 (IWHR)	a member of the Steering Committee of Flash Flood Program(FFP)
畑 真紀	(国大)東京大学地震研究所	外来研究員
畑 真紀	EMIW2024 Local Organizing Committee (LOC)	EMIW 2024 LOC 委員
畑山 満則	(公財)水道技術研究センター	「水道の基盤強化に資する管路の構築及び情報活用に関する研究」に係る委員
畑山 満則	枚方市国民保護協議会	枚方市国民保護協議会委員
畑山 満則	経済産業省経済産業政策局	産業構造審議会 地域経済分科会 工業用水道政策小委員会 臨時委員
畑山 満則	大阪市水道局	大阪市工業用水道施設運営事業有識者会議委員
畑山 満則	(国大)滋賀大学	特別招聘教授
畑山 満則	京都大学工学部	非常勤講師
畑山 満則	滋賀県	湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
畑山 満則	内閣府宇宙開発戦略推進事務局	準天頂衛星システム事業推進委員会防災分科会構成員
畑山 満則	滋賀県	甲賀圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
畑山 満則	滋賀県	高島地域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員

畑山 満則	堺市上下水道局	堺市上下水道事業懇話会 構成員
畑山 満則	大阪市水道局	大阪市水道局災害情報システム再構築・運用保守業務委託にかかる総合評価一般競争入札検討会議メンバー
畑山 満則	堺市上下水道局	(仮称) 堺市上下水道ビジョン策定検討懇話会 構成員
畑山 満則	国土交通省国土地理院	測量行政懇談会臨時委員
畑山 満則	あかしあ台まちづくり連絡協議会	アドバイザー
畑山 満則	(国研) 防災科学技術研究所 総合防災情報センター	規格開発ワーキンググループ委員
畑山 満則	Malaysia-Japan International Institute of Technology	VISITING PROFESSOR (客員教授)
馬場 康之	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
馬場 康之	京都大学工学部	非常勤講師
馬場 康之	串本町	串本町防災会議委員
馬場 康之	(一財) 日本気象協会	「洋上ウィンドファーム開発支援事業/洋上風況観測にかかる試験サイトモデル検討・構築」技術委員会 委員
平石 哲也	京都大学工学部	非常勤講師
平石 哲也	(一財) 沿岸技術研究センター	港湾における気候変動適応策の実装に向けた技術検討委員会 委員
平石 哲也	(一社) ウォーターフロント協会	汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価制度 管理運営委員会委員
廣井 慧	枚方市	枚方市情報公開・個人情報保護審議会委員
廣井 慧	(国研) 情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター	協力研究員
廣井 慧	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科附属メディアデザイン研究所	リサーチャー
廣井 慧	名古屋大学未来社会創造機構	客員准教授
廣井 慧	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部専門委員
廣井 慧	京都大学工学部	非常勤講師
廣井 慧	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	「南海トラフ地震及び首都直下地震を対象とした被害軽減に関する研究会」委員

深畑 幸俊	(公社) 日本地球惑星科学連合	代議員
深畑 幸俊	京都大学理学部	非常勤講師
深畑 幸俊	名古屋大学高等研究院	名古屋大学若手研究育成プログラム (YLC) テニキュア審査委員会委員
藤田 正治	株式会社 建設環境研究所	流砂モニタリングと流域土砂管理に関する技術指導
藤田 正治	国土交通省近畿地方整備局	熊野川流域懇談会 委員
藤田 正治	国土交通省総合政策局	社会資本整備審議会臨時委員
藤田 正治	奈良県県土マネジメント部	奈良県県土マネジメント部技術ドクター
藤田 正治	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
藤田 正治	(国研) 土木研究所	革新的社会資本整備研究開発推進事業 課題評価委員会の委員
藤田 正治	国土交通省 水管理・国土保全局	社会資本整備審議会専門委員
藤田 正治	八千代エンジニアリング (株)	土砂・洪水氾濫対策検討会における有識者
藤田 正治	国土交通省 水管理・国土保全局	気候変動を踏まえた砂防技術検討会 座長
藤田 正治	国土交通省 水管理・国土保全局	社会資本整備審議会河川分科会 河川整備基本方針検討小委員会 専門委員
藤田 正治	日本工営 (株)	技術指導員
藤田 正治	和歌山県	和歌山県河川整備審議会委員
藤田 正治	(国交) 中部地方整備局 豊橋河川事務所、矢作ダム管理所	矢作川水系総合土砂管理検討委員会委員
藤田 正治	(一財) 砂防・地すべり技術センター	令和 4 年度 研究開発助成委員会委員
藤田 正治	電源開発株式会社	二津野ダム下流土砂還元検討委員会 委員
藤田 正治	京都府	京都府防災会議 地域防災の見直し部会 委員
藤田 正治	京都大学工学部	非常勤講師
藤田 正治	富山県	弥陀ヶ原火山防災協議会 学識経験者 (砂防専門家)
藤田 正治	国立研究開発法人 土木研究所	土木研究所外部評価委員会委員および流域管理分科会長
藤田 正治	北山村	北山村ダムの諸問題と防災対策アドバイザー
藤田 正治	公益財団法人岡崎嘉平太国際奨学財団	理事
藤田 正治	NPO 法人山の自然文化研究センター	理事

藤田 正治	公益財団法人岡崎嘉平太国際奨学財団	奨学生選考委員
藤田 正治	株式会社インバックス インバックス技術研究所	インバックス技術研究所(ITR)技術研究会 委員
藤田 正治	(国交)水管理・国土保全局	河川砂防技術基準検討委員会 委員
藤田 正治	(一財)砂防・地すべり技術センター	「土砂・洪水氾濫対策計画技術検討会」委員
藤田 正治	国土交通省総合政策局	交通政策審議会臨時委員
藤田 正治	日本エヌ・ユー・エス株式会社	気候変動の影響に関するWG 自然災害・沿岸域分野WG委員
藤田 正治	鳥取大学持続性社会創生科学研究科	非常勤講師
藤田 正治	大阪府	大阪府森林審議会委員
藤田 正治	国土交通省 北陸地方整備局	「上高地河床上昇対策勉強会」の検討委員
藤田 正治	(一財)砂防・地すべり技術センター	研究開発助成委員会委員
藤田 正治	国土交通省国土技術政策総合研究所	土砂・洪水氾濫対策計画技術懇談会 委員
藤見 俊夫	西日本プラント工業(株)	行動科学による墜落災害抑制検討に関するアドバイザー
藤見 俊夫	京都大学工学部	非常勤講師
古谷 千絵	自営業	文筆業
堀 智晴	滋賀県	滋賀県環境影響評価審査会
堀 智晴	京都市防災会議、京都市	京都市防災会議専門委員会専門委員
堀 智晴	NGO・EPCS(環境計画市民会議)&NPO法人SMSA	JPSMS 本部事務局評価判定委員長
堀 智晴	国土交通省近畿地方整備局	紀の川流域懇談会委員
堀 智晴	電源開発株式会社	令和2年7月豪雨における瀬戸石ダム出水対応に関する有識者ヒアリング
堀 智晴	国土交通省近畿地方整備局 猪名川河川事務所	猪名川河川レンジャー運営検討委員会委員
堀 智晴	(一財)防災研究協会	非常勤研究員
堀 智晴	電源開発株式会社	ダム操作に関する技術検討会委員
堀 智晴	京都大学工学部	非常勤講師

堀 智晴	国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所	木津川上流河川環境研究会委員
堀 智晴	滋賀県	東近江圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
堀 智晴	滋賀県	湖東圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会委員
堀 智晴	(公財) 河川財団	研究アドバイザー
堀 智晴	(国交) 近畿地方整備局 猪名川河川事務所	猪名川河川レンジャー運営検討委員会委員
堀 智晴	滋賀県	滋賀県環境影響評価審査会 委員
堀口 光章	京都大学理学部	非常勤講師
牧 紀男	特定非営利活動法人 京都丹波・丹後ネットワーク	特定非営利活動法人 京都丹波・丹後ネットワーク 理事長
牧 紀男	宇治市	宇治市総合計画審議会委員
牧 紀男	和歌山県	避難路沿い建築物等対策審議会委員
牧 紀男	奈良県	奈良県広域防災に関する懇談会委員
牧 紀男	京都市	京都市公契約審査委員会委員
牧 紀男	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
牧 紀男	奈良県	奈良県地域防災計画検討委員会委員
牧 紀男	京都市防災会議	京都市防災会議専門委員会専門委員 (地震部会)
牧 紀男	京都市	京都市都市計画審議会委員
牧 紀男	長浜市	長浜市防災会議 委員
牧 紀男	京都大学デザインイノベーションコンソーシアム	京都大学デザインイノベーションコンソーシアム推進委員会委員
牧 紀男	滋賀県	滋賀県災害廃棄物対策検討会議委員
牧 紀男	京都市	京都市建築審査会委員
牧 紀男	生駒市	生駒市防災会議委員
牧 紀男	大阪市役所	大阪市あんしんマンション有識者会議委員
牧 紀男	滋賀県	滋賀県国民保護協議会委員
牧 紀男	(特非) 大規模災害対策研究機構	理事、東海・東南海・南海地震津波研究会座長

牧 紀男	大阪府	大阪府国土利用計画審議会委員
牧 紀男	和歌山県	和歌山県都市計画審議会委員
牧 紀男	東京書籍株式会社	令和 7 年度発行予定中学校社会科教科書『新編新しい社会』編集協力者
牧 紀男	株式会社パスコ	アドバイザー
牧 紀男	京都府	京都府防災会議 京都府戦略的地震防災対策推進部会委員
牧 紀男	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部専門委員
牧 紀男	(国研) 防災科学技術研究所	客員研究員
牧 紀男	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	人と防災未来センター上級研究員
牧 紀男	京都府	京都府防災会議 地域防災の見直し部会 部会長
牧 紀男	京都大学工学部	非常勤講師
牧 紀男	高石市	高石市防災危機管理アドバイザー
牧 紀男	株式会社 H3	フェロー
牧 紀男	大阪府	大阪府住生活審議会委員
牧 紀男	阪南市	阪南市防災会議委員
牧 紀男	高知県	高知県南海トラフ地震対策推進本部 アドバイザー
牧 紀男	常葉大学	非常勤講師
牧 紀男	株式会社防災士研修センター	研修会 講師
牧 紀男	田辺市役所	田辺市事前復興計画専門家会議委員
牧 紀男	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	兵庫県史執筆者
牧 紀男	滋賀県	滋賀県原子力防災専門会議委員
牧 紀男	大阪市	大阪市国民保護協議会委員 (企画部長)
牧 紀男	京都府	京都府総合計画策定検討委員会 (仮称) 委員
牧 紀男	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	研究調査助成事業審査委員会 委員
牧 紀男	高石市	高石市防災会議委員

牧 紀男	高知県商工労働部工業振興課	高知県防災関連製品認定審査会 審査委員
牧 紀男	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	「南海トラフ地震及び首都直下地震を対象とした被害軽減に関する研究会」委員
牧 紀男	一般社団法人防災教育普及協会	理事
牧 紀男	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局	次期 SIP 課題候補「スマート防災ネットワークの構築」検討タスクフォースにおける有識者委員
牧 紀男	串本町役場 教育委員会	学校づくり協議会 委員
牧 紀男	徳島県	徳島県復興指針推進委員会 委員
牧 紀男	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	ポストコロナ社会における重要な課題抽出に関する研究会 委員
牧 紀男	パシフィックコンサルタンツ株式会社	技術・システム検討ワーキンググループ 座長
牧 紀男	京大オリジナル株式会社	レジリエンス&サステナブルを踏まえた建物性能評価に関するコンサルティング業務
牧 紀男	環境省環境再生・資源循環局	令和 4 年度災害廃棄物対策推進検討会委員
松四 雄騎	滋賀県	滋賀県環境影響評価審査会
松四 雄騎	滋賀県	滋賀県環境審議会委員
松四 雄騎	(公社) 日本地球惑星科学連合	環境災害委員会委員
松四 雄騎	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
松四 雄騎	日本地形学連合	代議員
松四 雄騎	国土交通省 水管理・国土保全局	気候変動を踏まえた砂防技術検討会 委員
松四 雄騎	京都大学理学部	非常勤講師
松四 雄騎	株式会社 H3	フェロー
松四 雄騎	国土交通省近畿地方整備局 技術スペシャリスト会議 運営委員会	技術スペシャリスト会議 土砂災害研究会アドバイザー
松四 雄騎	株式会社 H3	アドバイザー
松四 雄騎	(公社) 日本地球惑星科学連合	環境災害対応委員会委員
松四 雄騎	(株) パスコ 富山支店	業務アドバイザー
松四 雄騎	滋賀県	滋賀県環境影響評価審査会 専門委員

松島 信一	浜松市役所	廃棄物処理施設設置に係る専門委員
松島 信一	文部科学省研究開発局	科学技術・学術審議会専門委員
松島 信一	京都府	京都府防災会議 京都府戦略的地震防災対策推進部会委員
松島 信一	京都大学工学部	非常勤講師
松島 信一	(国大) 東京大学地震研究所	地震・火山噴火予知研究協議会委員
松島 信一	(国大) 東京大学地震研究所	地震・火山噴火予知研究協議会企画部戦略室員
松島 信一	株式会社 H3	フェロー
松島 信一	(国研) 防災科学技術研究所	実大三次元震動破壊実験施設利用委員会委員
松島 信一	(国研) 防災科学技術研究所	令和 4 年度防災科学技術研究所選考委員
松島 信一	(公社) 日本地球惑星科学連合	環境災害対応委員会委員
松島 信一	京大オリジナル株式会社	レジリエンス&サステイナブルを踏まえた建物性能評価に関するコンサルティング業務
丸山 敬	デロイト トーマツコンサルティング合同会社	太陽光発電設備の信頼性・安全性向上の技術評価およびガイドライン策定に関する企画立案に係る検討委員会委員
丸山 敬	尼崎市	尼崎市環境影響評価審議会委員
丸山 敬	(一財) 防災研究協会	非常勤研究員
丸山 敬	株式会社リアムコンパクト	技術アドバイザー
丸山 敬	京都大学工学部	非常勤講師
丸山 敬	(一財) ベターリビング	技術コンサルタント
丸山 敬	(一財) 日本サッシ協会	JIS A 4717 (窓用シャッター) 原案作成委員会委員
丸山 敬	(一財) 日本建築防災協会	安全・安心ガラス設計施工指針編集委員会委員
丸山 敬	板硝子協会	JIS 原案作成委員会および分科会 委員長
宮澤 理稔	文部科学省研究開発局	地震調査研究推進本部地震調査委員会委員
宮澤 理稔	(国大) 東京大学地震研究所	地震・火山噴火予知研究協議会企画部戦略室員
宮澤 理稔	株式会社 INPEX	南阿賀 CO2EOR 実証試験環境対策検討会委員
宮澤 理稔	株式会社 INPEX	平井ブルー水素・アンモニア一貫実証試験環境対策検討会 委員
宮下 卓也	京都大学工学部	非常勤講師

宮田 秀介	焼岳火山防災協議会	焼岳火山防災協議会 会員
宮田 秀介	京都大学工学部	非常勤講師
宮田 秀介	NPO 法人山の自然文化研究センター	理事
宮田 秀介	(一財) 砂防フロンティア整備推進機構	令和 4 年度上宝町長倉地区土砂災害懇話会 講師
森 信人	国土交通省近畿地方整備局	熊野川流域懇談会 委員
森 信人	Swansea University, UK College of Engineering	Honorary Professor of Swansea University
森 信人	国土交通省水管理・国土保全局	海岸保全に係る気候変動適応コンソーシアム委員
森 信人	損害保険料率算出機構	災害科学研究会風水害部会 主査
森 信人	兵庫県	高潮危険度予測協議会 オブザーバー
森 信人	世界気象機関 (WMO)	技術専門家チーム (委員)
森 信人	ONE CONCERN, INC.	テクニカルワーキンググループ委員
森 信人	横浜国立大学先端科学高等研究院	先端科学高等研究院台風科学技術研究センター副センター長および非常勤講師
森 信人	文部科学省研究開発局	文部科学省技術参与 (環境エネルギー科学技術研究担当)
森 信人	広島大学大学院先進理工系科学研究科	客員教授
森 信人	京都大学工学部	非常勤講師
森 信人	(国交) 北陸地方整備局 黒部河川事務所	下新川海岸保全技術検討委員会委員
森 信人	株式会社 H3	フェロー
森 信人	国土交通省 気象庁	「火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方検討会」委員
森 信人	国土交通省 気象庁	「防災気象情報に関する検討会」委員
森 信人	株式会社三菱総合研究所	令和 4 年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会の委員
森 信人	北海道沿岸の海象変化及び港湾施設機能強化検討業務寒地センター・北日本港湾・クマシロ設計共同体代表者 (一社) 寒地港湾空港技術研究センター	気候変動適応策に関する技術開発検討会 メンバー

森 信人	国土交通省水管理・ 国土保全局	河川砂防技術基準検討委員会 委員
森 信人	一般財団法人 気象 業務支援センター	気候変動予測先端研究プログラム領域課題 3「日 本域における気候変動予測の高度化」研究運営委 員会委員
森 信人	(公財)地球環境産 業技術研究機構	気候変動リスクマネージメント検討 WG 委員
森 信人	東京大学大気海洋研 究所	文部科学省「気候変動予測先端研究プログラム」 気候変動予測と気候予測シミュレーション技術の 高度化(全球気候モデル)運営委員会委員
森 信人	(国研)海洋研究開 発機構	気候変動予測先端研究プログラム カーボンバジ ェット評価に向けた気候予測シミュレーション技 術の研究開発(物質循環モデル)(領域課題 2) 運営委員会委員
森 信人	(一財)国土技術研 究センター	「海岸技術政策研究会」委員
森 信人	北海道建設部	気候変動の影響を踏まえた設計外力の設定に係る 検討懇談会構成員
森 信人	日本エヌ・ユー・エ ス株式会社	気候変動の影響に関する WG 自然災害・沿岸域分 野 WG 委員
森 信人	国土交通省 気象庁	「防災気象情報に関する検討会」サブワーキング グループ委員
森 信人	(一財)沿岸技術研 究センター	港湾における気候変動適応策の実装に向けた技術 検討委員会委員
森 信人	(一財)日本気象協 会	IPCC 第 6 次評価報告書/統合報告書 (AR6/SYR) 最終政府ドラフト (FGD) 政府査読への助言者
森 信人	文部科学省研究開発 局環境エネルギー課 気象庁大気海洋部リ スク対策課	気候変動に関する懇談会 評価検討部会委員
森 信人	(独)国際協力機構	トンガ火山噴火災害ハザードに係る有識者
山口 弘誠	公立大学法人大阪	非常勤講師
山口 弘誠	京都大学工学部	非常勤講師
山口 弘誠	(一財)河川情報セ ンター	レーダ雨量計活用による河川情報高度化検討会オ ブザーバー
山口 弘誠	(国交)近畿地方整 備局 淀川ダム統合 管理事務所	レーダー雨量計技術応用研究委員会 委員
山口 弘誠	(国交)水管理・国 土保全局水資源部	国土審議会水資源開発分科会専門委員
山崎 新太郎	(国交)四国地方整 備局	令和 4 年度 道路防災有識者
山崎 新太郎	北見工業大学	非常勤講師
山崎 新太郎	(国交)四国地方整 備局四国山地砂防事 務所	善徳地区地すべり対策検討委員会及び怒田・八畝 地区地すべり対策検討委員会 委員

山崎 新太郎	徳島県	高知県・徳島県地すべり対策研究会 有識者会員
山下 裕亮	宮崎県総合博物館	宮崎県博物館協議会 委員
山下 裕亮	宮崎県	宮崎県公害審査会 委員
山下 裕亮	国立研究開発法人防災科学技術研究所	南海トラフ海底地震津波観測網の整備に関する技術委員会 委員
山下 裕亮	(公財)地震予知総合研究振興会	南海トラフ～南西諸島海溝の地震・津波に関する研究会 委員
山田 真史	千葉大学環境リモートセンシング研究センター	協力研究員
山田 真澄	(国研)建築研究所	カリキュラム部会 委員
山田 真澄	国土交通省鉄道局	新幹線の地震対策に関する検証委員会 委員
山田 真澄	気象庁地震火山部	緊急地震速報評価・改善検討会 利活用検討作業部会 委員
山野井 一輝	国立開発法人理化学研究所	客員研究員
山野井 一輝	京都大学工学部	非常勤講師
山本 圭吾	鹿児島大学理学部	非常勤講師
山本 圭吾	京都大学理学部	非常勤講師
矢守 克也	IDRiM Society	Board of Director (理事)
矢守 克也	国土交通省近畿地方整備局	淀川水系流域委員会 専門家委員会 委員
矢守 克也	福井県大野市	防災アドバイザー
矢守 克也	堺市	堺市防災会議 委員
矢守 克也	(特非)大規模災害対策研究機構	理事、企画委員会 委員長
矢守 克也	株式会社 帝国書院	帝国書院 令和7年度版中学校用教科書の部分監修・校閲者
矢守 克也	京都府福知山市役所	福知山市避難のあり方推進懇話会 会長
矢守 克也	(国大)静岡大学防災総合センター	非常勤講師の委嘱及び静岡大学客員教授の名称付与
矢守 克也	特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム	理事
矢守 克也	(国大)静岡大学	非常勤講師
矢守 克也	関西学院大学災害復興制度研究所	顧問

矢守 克也	京都大学工学部	非常勤講師
矢守 克也	富士山火山防災対策協議会	富士山火山広域避難計画検討委員会委員
矢守 克也	福岡大学	非常勤講師
矢守 克也	阪南市	阪南市防災会議委員
矢守 克也	NHK 放送文化研究所	「放送研究と調査」レビュー委員
矢守 克也	東北大学研究推進・支援機構知の創出センター	東北大学研究推進・支援機構知の創出センター国際アドバイザーボード委員
矢守 克也	宮城県教育委員会	宮城県多賀城高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員
矢守 克也	高知県	高知県南海トラフ地震対策推進本部 アドバイザー
矢守 克也	国土交通省 気象庁	「火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方検討会」委員
矢守 克也	国土交通省 気象庁	「防災気象情報に関する検討会」委員
矢守 克也	高知県教育委員会	令和 4 年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業運営指導委員会委員
矢守 克也	名古屋大学減災連携研究センター	社会連携推進会議委員
矢守 克也	(株)サイバー創研	内部検討委員会委員 (防災ナッジ実証に関する業務設計助言)
矢守 克也	(一財)関西情報センター	令和 4 年度地域防災力の向上を目指すアドバイザーボード委員
矢守 克也	神戸学院大学	客員教授
矢守 克也	黒潮町	黒潮町事前復興まちづくり計画策定にかかるアドバイザー
矢守 克也	国土交通省 気象庁	「防災気象情報に関する検討会」サブワーキンググループ委員
矢守 克也	内閣官房 国土強靱化推進室	国土強靱化の戦略的かつ効果的な広報及び普及啓発活動のあり方に関する検討会委員
矢守 克也	独立行政法人環境再生保全機構	令和 4 年度熱中症対策推進検討委員会委員
矢守 克也	特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク	理事
横松 宗太	IDRiM Society	Board of Director (理事) /Tresurer(会計)
吉田 聡	気象庁大気海洋部	異常気象分析作業部会委員
吉田 聡	串本町	串本町防災会議委員
吉田 聡	北海道大学大学院理学研究院	学士論文外部審査委員

吉村 令慧	The 26th EMIW 誘致 実行委員会	The 26th Electromagnetic Induction Workshop in 2022(EMIW2022)大会組織委員会(LOC)委員
吉村 令慧	兵庫県立大学大学院 理学研究科	メンター
米山 望	大阪府	大阪府地方港湾審議会委員
米山 望	(一社) 海洋インバ ースダム協会	代表理事
米山 望	(公社) 日本地球惑 星科学連合	環境災害委員会委員
米山 望	(株) ハイドロ総合 技術研究所	研究アドバイザー
米山 望	関西大学	非常勤講師
米山 望	京都大学工学部	非常勤講師
米山 望	(一財) 電力中央研 究所原子力リスク研 究センター	立地技術研究会委員
渡部 哲史	千葉大学環境リモ ートセンシング研究セ ンター	協力研究員
渡部 哲史	東京大学大学院工学 系研究科	社会基盤学専攻 修士論文 副査
渡部 哲史	文部科学省科学技 術・学術政策研究所 科学技術予測・政策 基盤調査研究センタ ー	専門調査員
渡部 哲史	国立大学法人九州大 学共創学部	非常勤講師

※その他、非公開 47 件

6.3 研究発表講演会・公開講座

6.3.1 研究発表講演会

◆令和 4 (2022) 年度

- ・ 日時・会場：2021 年 2 月 21 日 (火)・22 日 (水) / 宇治おうばくプラザきはだホール、プレナリーセッションはオンラインのライブ配信もあり (YouTube)
- ・ 災害調査報告 1 件：桜島爆発による特別警報発表に関する考察 (教授 井口正人)
- ・ 技術支援報告 1 件：遠隔地施設における技術支援 ～宮崎観測所の場合～ (技術職員 小松信太郎)
- ・ 特別講演 3 件：仲間と歩んだ 40 年間の土砂災害・土砂資源に関わる研究 (教授 藤田正治)、単純に突進する (教授 飯尾能久)、人生、水もの (教授 平石哲也)
- ・ パラレルセッション：口頭発表 162 件、ポスター発表 44 件
- ・ 来場者 390 名 (うち、発表者 206 名、芳名帳記帳者 117 名、発表者以外の所内教職員 57 名、名誉教授 10 名)
- ・ プレナリーセッションオンライン視聴者 (のべ数)：1 日目 364 名、2 日目 642 名
- ・ 優秀発表賞受賞者 12 名：西沢貴志、野末陽平、澤田尚樹、原田茉知、岡田智晴、斎藤芳樹、大西左海、Rongguang YU、馬場俊明、藤田翔乃、井上智裕、太田義将

令和4年度 京都大学防災研究所 研究発表講演会

2023年

2月21日(火)

~22日(水)

会場 京都大学宇治キャンパス
(一部YouTube配信)

▶21日 9:00~ 開会の言葉……所長 中北英一

災害調査報告

▶ 21日 9:20~

桜島爆発による
特別警報発表に
関する考察

教授 井口 正人



技術支援報告

▶ 21日 9:40~

遠隔地施設に
おける技術支援
~宮崎観測所の場合~

技術職員 小松 信太郎



特別講演

▶ 22日 14:00~

仲間と歩んだ40年の
土砂災害・土砂資源に関わる研究

教授 藤田 正治



▶ 22日 14:40~

単純に突進する

教授 飯尾 能久



▶ 22日 15:20~

人生、水もの

教授 平石 哲也



パラレルセッション

▶21日

10:20~12:30……口頭発表 (1)

12:30~14:50……ポスター発表コアタイム

15:00~18:30……口頭発表 (2)

▶22日

9:00~13:00……口頭発表 (3)

▶22日 16:10~ 閉会の言葉……副所長 渦岡良介 / 優秀発表賞授賞式ほか



京都大学防災研究所
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

[主催] 京都大学防災研究所 [後援] 一般財団法人 防災研究協会
[お問合せ] 京都大学宇治地区事務部研究協力課 TEL: 0774-38-3350
<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/16875/>



6.3.2 公開講座

◆令和 4 (2022) 年度

第 33 回「多発する豪雨、水害、土砂災害に備える」広島県共催

日 時： 2022 年 10 月 4 日 (火) 10:00~16:30

会 場： 広島県民文化センター多目的ホール (広島市)

受講料： 無料

聴講者： 85 名

概 要： 近年、気候変動の影響などから、豪雨とそれに伴う水害・土砂災害が多発しています。昨年の熱海での土砂災害は記憶に新しいですが、広島でも 2014 年の豪雨・土砂災害や 2018 年の豪雨被害が発生しています。そこで、豪雨・水害・土砂災害の発生要因とその予測や対応についてお話しします。

講演内容：

- ・ 開会の挨拶 (所長 中北英一 / 広島県危機管理監 尾崎哲也)
- ・ 豪雨につながる大気の流れとその予測 (教授 榎本剛)
- ・ 日本全国の中小河川を対象とする洪水予測システムの開発 (准教授 佐山敬洋)
- ・ 2014 年・2018 年の広島での土石流災害の発生要因とその予測・対策 (准教授 竹林洋史)
- ・ 地形・地質・森林の影響を考慮した豪雨による斜面崩壊の発生予測とその検証 (准教授 松四雄騎)
- ・ 大切だとわかっているのに災害の備えをしない心のしくみ (准教授 藤見俊夫)
- ・ 総合討論 (司会：教授 矢守克也)
- ・ 閉会の挨拶 (副所長 渦岡良介)

広島開催
京都大学防災研究所・広島県 共催 **京都大学防災研究所公開講座**

多発する 豪雨、水害、 土砂災害に 備える

2022
 日時 **10/4** (火) 10:00 - 16:30

会場 広島県民文化センター多目的ホール
〒730-0051 広島市中区大手町 1 丁目 5-3 オンライン開催に変更する場合があります。
 バス・路面電車「紙屋町西」「紙屋町」下車

入場料	無料
定員	250 名 (要事前申込み。新型コロナ対策のため人数を減らしています)
対象	一般・実務者・大学生・高校生
備考	本講座は、土木学会認定 CPD プログラムです

[受講申込みはこちらから](#)

プログラム

10:00 ~ 10:10	開会の挨拶 (所長 中北英一 / 広島県危機管理監 尾崎哲也) 教授 榎本剛
10:10 ~ 11:00	豪雨につながる大気の流れとその予測 准教授 佐山敬洋
11:00 ~ 11:50	日本全国の中小河川を対象とする 洪水予測システムの開発
11:50 ~ 13:00	(昼休み)
13:00 ~ 13:50	准教授 竹林洋史 2014年・2018年の広島での土石流災害の 発生要因とその予測・対策
13:50 ~ 14:40	准教授 松四雄騎 地形・地質・森林の影響を考慮した豪雨による 斜面崩壊の発生予測とその検証
14:40 ~ 14:55	(休憩)
14:55 ~ 15:45	准教授 藤見俊夫 大切だとわかっているのに災害の 備えをしない心のしくみ
15:45 ~ 16:25	総合討論 (司会: 教授 矢守克也)
16:25 ~ 16:30	閉会の挨拶 (副所長 渦岡良介)

京都大学防災研究所

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

□ 問合せ先 京都大学防災研究所公開講座事務局
 所在地: 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学宇治地区事務部研究協力課拠点支援掛
 メール: kokai04@dpri.kyoto-u.ac.jp 電話: 0774-38-3350
 詳細ページ <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/16259/>

広島開催

京都大学防災研究所・広島県 共催 京都大学防災研究所公開講座

多発する豪雨、水害、土砂災害に備える

近年、気候変動の影響などから、豪雨とそれに伴う水害・土砂災害が多発しています。昨年の熱海での土砂災害は記憶に新しいですが、広島でも2014年の豪雨・土砂災害や2018年の豪雨被害が発生しています。そこで、豪雨・水害・土砂災害の発生要因とその予測や対応についてお話しします。



豪雨につながる大気の流れとその予測

教授 榎本剛

広島にも大きな被害をもたらした西日本豪雨(平成30年7月豪雨)や令和元年東日本台風では、これまでの局地的な豪雨とは異なり影響が広域に及びました。このような現象の予測について、アンサンブル手法を用いた解析や、スーパーコンピュータを使った数値実験の結果に基づいてお話しします。



日本全国の中小河川を対象とする洪水予測システムの開発

准教授 佐山敬洋

2018年西日本豪雨では、多数の河川で同時多発的に水害が発生しました。日本全国を対象に俯瞰的な視点を持ちつつ、身近な中小河川の洪水や氾濫を予測する新たな予測システムの開発研究を進めています。本講演では具体的な適用例を紹介したうえで、多発する水害にいかに対応するかを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。



2014年・2018年の広島での土石流災害の発生要因とその予測・対策

准教授 竹林洋史

広島県では、2014年と2018年に多くの土石流災害が発生しました。本講演では、土石流の深さや速さ、氾濫範囲などの土石流の特性について示すとともに、土石流現象を予測・再現する最新技術について紹介します。また、土石流の氾濫特性に基づいた土石流からの効果的・効率的な避難方法について紹介します。



地形・地質・森林の影響を考慮した豪雨による斜面崩壊の発生予測とその検証

准教授 松四雄騎

山の斜面が豪雨で崩れてしまうのはなぜでしょうか。山地をつくる岩石や土の成り立ちと、地面にしみ込んだ雨水のゆくえ、また、その作用が斜面の崩壊を引き起こす仕組みを解説します。そして降水の浸透による斜面の不安定化に対する地形や地質の影響、森林の効果を検討した新しいハザードマップ作製への挑戦を紹介します。



大切だとわかっているのに災害の備えをしない心のしくみ

准教授 藤見俊夫

災害の危険性や対策・備えの重要性を頭では理解していて、やろうと思えばいつでもできるけど、なかなか行動にうつせないということはいくらでもありますね。「正常化の偏見」や「災害を他人事と感じている」などの理由が挙げられています。その背後には人が認知・判断するための無意識のプロセスがあります。そうした心の仕組みを簡単に紹介します。

受講申込み

Web から

9月20日までに本公開講座イベントページの「チケットを申し込む」から 必要事項を登録ください。
★イベントページ：<https://dpriopenlecture04.peatix.com> [Peatix]

電子メールで

9月20日までに①氏名②ふりがな③所属(勤務先または学校名)④連絡先メールアドレス
⑤今後のイベント案内(防災研メールマガジン購読)の要・不要、⑥土木学会CPDプログラム受講認定の要・不要を
明記して送信ください。折り返し受講受付の通知をします。
★電子メール送信先：kokai04@dpri.kyoto-u.ac.jp [京都大学防災研究所公開講座事務局]

※オンライン開催に変更する場合があります。変更の決定は9月27日までにいきます。変更が決定された場合は、速やかに申込み時に記入された連絡先にお知らせします。またそれ以降に開催が不可能になる事態が発生した場合は開催を中止しますのでご了承ください。

□備考

- ・詳細ページ(右上受講申込みQRコード)に講義資料を掲載します。
- ・過去の公開講座の録画映像を「京都大学OCW」「京都大学防災研究所YouTubeチャンネル」からご覧になれます。

受講申込みはこちらから



6.4 京大ウィークス

6.4.1 宇治キャンパス公開

期間：令和 4 年 10 月 22 日～10 月 23 日（宇治川オープンラボラトリーは 22 日のみ開催）
 テーマ：キミのワクワクがここにある みんなで過ごす科学的週末
 参加者数：1,805（宇治キャンパス 1,699、宇治川オープンラボラトリー106）

以下、防災研究所からの講演・展示等

特別講演会：「災害の経済分析：過去の調査から分かってきたこと」 多々納裕一教授

公開講演会：実施せず

公開ラボ：8（宇治川オープンラボラトリー含む）

総合展示：2



公開ラボ

プログラム名	対象	会場
来て・みて・感じて 水資源	幼・小・中・高・一般	本館 E 棟 1 階 E114N 号室
斜面災害研究の最先端：地震時地すべり再現試験	小・中・高・一般	本館 E 棟 1 階 E107D 号室
飛ばせ気球！見つめろ地球！ —空を診察して豪雨の予測に役立ってます—	幼・小・中・高・一般	中庭駐車場
避難所運営シミュレーションゲーム ～彼の「決断」、私の「決断」～	中・高・一般	本館 N 棟 4 階 N-441D 中会議室
遠心力载荷装置を用いた液化化地盤の公開実験	小・中・高・一般	遠心力载荷実験室
風を感じる	幼・小・中・高・一般	境界層風洞実験室
動台による地震の揺れの再現	中・高・一般	強震応答実験棟
災害を起こす自然現象を体験する	幼・小・中・高・一般	宇治川オープンラボラトリー

※幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生

6.4.2 観測所でのイベント

観測所	実施日	参加者数
徳島地すべり観測所	8月27日(土)	17
阿武山観測所	10月29日(土)、30日(日)	280
宮崎観測所	—	新型コロナウイルス感染拡大により中止

6.5 その他の公開

6.5.1 防災研究所（宇治キャンパス）への来訪者数

※広報出版企画室で調整したもののみ、宇治キャンパス公開は含まない

	R4
小中高の学校	2
	61
大学、教育研究機関	0
	0
一般団体	1
	31
政府機関	4
	55
学内関係者	2
	7
合計	9
	154

（上段は件数、下段は人数を表す）

6.5.2 阿武山観測所サイエンスミュージアム計画の活動状況

項目	令和4年度
訪問者数	2774（名）
見学会（一般・団体）	67（回）
イベント（講座など）	10（回）
阿武山サポーターの所外活動	9（回）

※訪問者数は京大ウィークス参加者数 280 名を含む

6.5.3 施設、設備、資料及びデータ等の利用状況等

○施設、設備の利用状況等

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的	
遠心力載荷装置		都市や社会基盤を形成する地盤・構造物系の空間・時間スケールを 50～200 分の 1 に縮小した模型実験を行う際に、重力効果の再現のため、重力の 50～200 倍の遠心力を作用させ、その変形や破壊挙動を調べる装置である。 (平成 21 年度末新設、平成 22 年度より稼働開始)	
稼働状況		令和 4 年度	
使用者の所属機関		年間使用人数	
		共同利用者数	
学内 (法人内)		126	126
国立大学		41	41
公立大学		0	0
私立大学		0	0
大学共同利用機関法人		0	0
独立行政法人等公的研究機関		0	0
民間機関		8	8
外国機関		0	0
その他		0	0
学外 計		49	49
計		175	175
		令和 4 年度	
稼働率(b/a)		90.6%	
年間稼働可能時間(a)		1,800	
年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		1,630	
共同利用に供した時間(c)		1,630	
共同利用以外の研究に供した時間(d)		0	
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		0	

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的	
白浜海象観測所 田辺中島高潮観測塔		海洋観測を研究目的とする数少ない現地観測施設。和歌山県田辺湾湾口部の観測塔，観測船，および観測所建物から構成される。観測塔では気象，海象に関する基礎データが 24 時間 365 日連続観測されている。また，学内外の研究者と大気海洋相互作用，台風接近時の荒天時のデータ観測等の共同研究を継続的に実施している（令和 4 年度，科研費 2 課題）。観測データは Web での公開のほか，研究機関，地方自治体等からの要望に応じて提供している（令和 4 年度の提供件数：5 件）	
稼動状況		令和 4 年度	
使用者の所属機関		年間使用人数	
			共同利用者数
学内（法人内）		122	24
国立大学		5	5
公立大学		0	0
私立大学		1	1
大学共同利用機関法人		0	0
独立行政法人等公的研究機関		1	1
民間機関		129	4
外国機関		0	0
その他		11	0
学外 計		147	11
計		269	35
		令和 4 年度	
稼働率(b/a)		100.0%	
年間稼動可能時間(a)		8,760	
年間稼動時間(b)=(c)+(d)+(e)		8,760	
共同利用に供した時間(c)		8,760	
共同利用以外の研究に供した時間(d)		0	
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		0	

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的	
境界層風洞実験装置		単回路吹出型の低風速境界層風洞測で、定部は幅 2.5m、高さ 2m(可変)、長さ 21m あり、風速は 0.2~25m/s まで変更可能である。流入部の乱れ強さ 0.4%以下で、天井高を変えることにより測定部の静圧勾配を調節することができる。また、風洞実験装置が設置された建物の内側は吸音壁となっており、実験時の騒音を低く抑えることができる。	
稼動状況		令和 4 年度	
使用者の所属機関		年間使用人数	
			共同利用者数
学内 (法人内)		148	0
国立大学		0	0
公立大学		0	0
私立大学		8	0
大学共同利用機関法人		0	0
独立行政法人等公的研究機関		0	0
民間機関		42	0
外国機関		0	0
その他		0	0
学外 計		50	0
計		198	0
		令和 4 年度	
稼働率(b/a)		42.4%	
年間稼動可能時間(a)		1,699	
年間稼動時間(b)=(c)+(d)+(e)		720	
共同利用に供した時間(c)		0	
共同利用以外の研究に供した時間(d)		720	
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		0	

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的	
桜島火山観測所		わが国で最も活動的な火山である桜島に火山噴火予知研究を目的として設置された施設。桜島や薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島などに設置された衛星観測点からの火山性地震、地盤変動などのデータを集約する霧島火山帯に属する火山群の中核的拠点である。	
稼動状況		令和4年度	
使用者の所属機関		年間使用人数	
			共同利用者数
学内（法人内）		120	60
国立大学		150	120
公立大学		0	0
私立大学		8	8
大学共同利用機関法人		0	0
独立行政法人等公的研究機関		60	60
民間機関		500	0
外国機関		30	30
その他		1,400	0
学外 計		2,148	218
計		2,268	278
		令和4年度	
稼働率(b/a)		100.0%	
年間稼動可能時間(a)		8,760	
年間稼動時間(b)=(c)+(d)+(e)		8,760	
共同利用に供した時間(c)		8,760	
共同利用以外の研究に供した時間(d)		0	
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		0	

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的	
地震時地すべり再現試験機	○	地震時地すべり再現試験機は鉄のせん断箱を有する地震時地すべり再現試験機（2台）と可視型地震時地すべり再現試験機の合計3台からなる。最高せん断速度 3m/s、最大垂直応力 4MPa、載荷波形最大周波数 5Hz の世界最高性能のリングせん断型試験機であり、地震時、豪雨時、クリープ等、あらゆる地すべりのせん断面の状態を再現することが可能な試験機である。国内外からの共同研究等、使用依頼は多い。	
稼動状況		令和4年度	
使用者の所属機関		年間使用人数	
			共同利用者数
学内（法人内）		96	10
国立大学		14	0
公立大学		3	0
私立大学		0	0
大学共同利用機関法人		0	0
独立行政法人等公的研究機関		0	0
民間機関		260	0
外国機関		15	0
その他		25	0
学外 計		317	0
計		413	10
		令和4年度	
稼働率(b/a)		57.1%	
年間稼動可能時間(a)		13,840	
年間稼動時間(b)=(c)+(d)+(e)		7,900	
共同利用に供した時間(c)		2,020	
共同利用以外の研究に供した時間(d)		5,160	
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		720	

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的	
分散並列型強震応答実験装置		構造物等の地震応答性状とともに被害原因を究明し信頼性の高い耐震設計法、耐震補強法、さらに地震応答制御法を開発することをめざして、強震動を受けた構造物の地震応答ならびに損傷過程などの実現象を忠実に再現することを目的に、3次元的地震動を入力でき、かつ、実構造物や実地盤に近い模型の強震応答を再現し得る実験装置として設置し利用している。平成 24 年度より「長周期振動実験システム」と連携しての利用が可能となり、長周期かつ大振幅の入力に対する構造物の耐震安全性を確保するための実験が可能となった。	
稼働状況		令和 4 年度	
使用者の所属機関		年間使用人数	
			共同利用者数
学内（法人内）		4	4
国立大学		0	0
公立大学		0	0
私立大学		0	0
大学共同利用機関法人		0	0
独立行政法人等公的研究機関		0	0
民間機関		3	0
外国機関		0	0
その他		0	0
学外 計		3	0
計		7	4
		令和 4 年度	
稼働率(b/a)		43.4%	
年間稼働可能時間(a)		792	
年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		344	
共同利用に供した時間(c)		232	
共同利用以外の研究に供した時間(d)		0	
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		112	

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的	
広帯域電場磁場観測装置		MT法（地磁気地電位法）を用いて地下深部までの電気比抵抗構造推定するために使用する。電場変化を2成分と地磁気変化3成分の計5成分を観測することができ、観測装置はGPS信号に同期し、多点同時観測が可能。観測可能な周波数帯域は400Hz-50000秒（広帯域）である。また、10000Hz-10秒（可聴域）での観測（AMT観測）も可能。具体的な装置の構成は以下の通りである。○フェニックス・ジオフィジックス社製の広帯域MT（400Hz-50000秒）観測装置が3式。これらはAMT（10000Hz-10秒）観測も可能。磁場コイルセンサーは、広帯域MT用5式（15本）・AMT用5式（6本）。○上記機器と同サンプリング間隔で収録可能なNTシステム社製の電磁場5成分・電場2成分ロガーがそれぞれ3式（計6式）ある。電磁場5成分ロガーのセンサーには、フェニックス・ジオフィジックス社製のインダクションコイルを用いる。なお、これらロガーは、メトロニクス社製のMT機器のサンプリングにも対応可。○フラックスゲート磁力計を用いるテラテクニカ社製長周期MT（128Hz-DC）観測装置2式。○簡易フラックスゲート磁力計、バーティントン社製の簡易計用センサー2式とテラテクニカ社製の空中磁気探査用小型システム3式についても貸し出し可能。	
		稼働状況	令和4年度
使用者の所属機関	年間使用人数		
		共同利用者数	
7 学内（法人内）	21	21	
国立大学	45	45	
公立大学	8	8	
私立大学	0	0	
大学共同利用機関法人	0	0	
独立行政法人等公的研究機関	0	0	
民間機関	0	0	
外国機関	6	6	
その他	0	0	
学外 計	59	59	
計	80	80	
		令和4年度	
稼働率(b/a)		92.0%	
年間稼働可能時間(a)		6,600	
年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		6,072	
共同利用に供した時間(c)		6,000	
共同利用以外の研究に供した時間(d)		72	
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		0	

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的	
地震連続観測装置		地震予知研究センターの各観測所および各観測点から伝送されてきた地震観測データを処理して、地震波形連続ファイルや、地震検測ファイル、震源ファイルを作成し、地震予知研究の基礎資料として全国の研究者の利用に供している。気象庁、防災科学技術研究所、他大学等とリアルタイムでデータ交換・流通を行い、基盤的観測網の一部として気象庁がデータを利用するほか、地震学の各分野での研究に利用されている。	
稼働状況		令和4年度	
使用者の所属機関		年間使用人数	
			共同利用者数
学内（法人内）		50	5
国立大学		200	20
公立大学		20	2
私立大学		10	1
大学共同利用機関法人		0	0
独立行政法人等公的研究機関		25	3
民間機関		5	0
外国機関		30	3
その他		0	0
学外 計		290	29
計		340	34
		令和4年度	
稼働率(b/a)		100.0%	
年間稼働可能時間(a)		8,760	
年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		8,760	
共同利用に供した時間(c)		8,592	
共同利用以外の研究に供した時間(d)		168	
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		0	

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的	
宇治川オープンラボラトリー	△	宇治川オープンラボラトリーは、水理学・土砂水理学関連の実験施設としては世界最大規模を誇り、実験水路・施設の数のみならず、その独自性においても世界有数のものが集積している。そこから数多くの世界最高水準の実験研究成果が生み出されている。また、実験施設を利用した防災教育にも活用されており、研究・教育拠点としても大いに機能している。 特に、平成 25 年より稼働している”津波再現水槽”は、3つの津波造波機構を有する世界でもまれな構成となっており、現実の津波波形を、精度よく再現できる。また、長さ 40m、幅 4m と断面水路としても大きいため、大縮尺での実験が可能である。	
稼働状況		令和 4 年度	
使用者の所属機関		年間使用人数	
		共同利用者数	
学内（法人内）	588	588	
国立大学	45	45	
公立大学	45	0	
私立大学	41	0	
大学共同利用機関法人	0	0	
独立行政法人等公的研究機関	23	0	
民間機関	2,156	1,444	
外国機関	37	0	
その他	315	0	
学外 計	2,662	1,489	
計	3,250	2,077	
		令和 4 年度	
稼働率(b/a)		100.0%	
年間稼働可能時間(a)		1,920	
年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		1,920	
共同利用に供した時間(c)		1,115	
共同利用以外の研究に供した時間(d)		743	
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		62	

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的	
地震災害研究センター・阿武山観測所		阿武山観測所は 1930 年頃に設立された歴史ある地震観測所であり、現在は、「満点計画」と呼ばれる次世代型地震観測計画の基地、および、世界最先端だった歴史的な地震計等を活用した地震学や防災研究のアウトリーチ活動や防災教育のための拠点（サイエンスミュージアム）として活用する計画を進めている。科学と社会、あるいは防災の専門家と一般の人とをしっかりとつなぎ直すことを目指し、一般市民のボランティアから成る「阿武山サポーター」が施設の公開だけでなく、出前型の地震授業などの観測所外の活動も行っている	
稼働状況		令和 4 年度	
使用者の所属機関		年間使用人数	
		共同利用者数	
学内（法人内）	55	36	
国立大学	3	0	
公立大学	11	0	
私立大学	29	29	
大学共同利用機関法人	0	0	
独立行政法人等公的研究機関	2	2	
民間機関	2	0	
外国機関	0	0	
その他	2,672	0	
学外 計	2,719	31	
計	2,774	67	
		令和 4 年度	
稼働率(b/a)		100.0%	
年間稼働可能時間(a)		1,600	
年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		1,600	
共同利用に供した時間(c)		320	
共同利用以外の研究に供した時間(d)		0	
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)		1,280	

※世界／国内最高性能をもつ施設・設備の場合は、「性能」欄に○(世界最高)、△(国内最高)を記入

※年間使用人数、共同利用者数については延べ人数で算出

※年間稼働可能時間とは、当該設備のメンテナンスに係る時間等を除き、電源投入の有無に関わらず、当該設備を利用に供することが可能な状態にある時間を指す

※年間稼働時間とは、利用者が当該設備を利用するために、電源が投入されている時間を指す

※(c)(d)以外の利用に供する時間とは、法人として研究に使用しない時間のうち、民間等に貸し出す時間等を指す

※ ○又は△を記入した施設・設備について、設置年月日、設置時の導入経費及び年間の運転経費を以下に記載

研究施設・設備名	A	設置年月日		備考
	B	設置時の導入経費（千円）		
	C	運転経費（千円／年）		
1 地震時地すべり再現 試験機	A	1995年3月31日 1996年3月28日 2002年3月29日		3台を順次設置
	B	117,111		国費の主な財源：①科学研究費補助金，②阪神・淡路大震災後の補正予算，③科学技術振興調整費
		国費	117,111	
	その他	0		
	C	令和4年度	4,550	当該施設の光熱水料、保守費、機能増加費等の前年度実績額。
2 宇治川オープンラボ ラトリー	A	1953年8月1日		
	B	4,293,506		国費の主な財源：施設新営費
		国費	4,293,506	
	その他	0		
	C	令和4年度	23,009	当該施設の光熱水料、保守費等の前年度実績額。

衝撃試験装置の利用状況

利用者の所属機関	令和4年度	
	年間利用人数	うち、共同利用者数
学内（法人内）	28	12
国立大学	0	0
公立大学	0	0
私立大学	0	0
大学共同利用機関法人	0	0
独立行政法人等公的研究機関	0	0
民間機関	26	0
外国機関	0	0
その他	0	0
計	54	12
稼働率	19.7	
年間稼働可能時間（a）	1216	
年間稼働時間（b）＝（c）＋（d）＋（e）	240	
共同利用に供した時間（c）	96	
共同利用以外の研究に供した時間（d）	72	
（c），（d）以外の利用に供した時間	72	

徳島地すべり観測所の利用状況

利用者の所属機関	令和4年度	
	年間利用人数	うち、共同利用者数
国立大学（本学を除く）	23	23
公立大学	5	5
私立大学	2	2
大学共同利用機関法人	0	0
独立行政法人等公的研究機関	9	0
民間機関	2	2
外国機関	0	0
その他	12	0
計	53	32

○資料の利用・提供・整備状況

資料名		価値	資料の概要
1	伊勢湾台風高潮被害写真データベース		伊勢湾台風時の高潮による被害現場の写真と現在の写真をデータベース化し、平成 29 年から京都大学研究資源アーカイブと連携することで、より詳しい情報をインターネット上で提供できるようになった。
	保有数／利用・提供状況	令和4年度	
	保有数	230	
	利用・提供区分	提供	
	利用件数	総利用件数	21,894
	共同利用・共同研究者利用件数(内数)	0	
資料名		価値	資料の概要
2	桜島火山ボーリングコア	○	桜島火山山麓 11 カ所において掘削したボーリングコアで、延べ 2、400m に及ぶ。最も深いもので 500m に及ぶ。
	保有数／利用・提供状況	令和4年度	
	保有数	11	
	利用・提供区分	提供	
	利用件数	総利用件数	0
	共同利用・共同研究者利用件数(内数)	0	
資料名		価値	資料の概要
3	桜島の爆発映像等	○	1980 年代以降の桜島南岳の爆発的噴火のビデオ映像、写真や諏訪之瀬島など鹿児島県内の火山の噴火映像、写真
	保有数／利用・提供状況	令和4年度	
	保有数	365 日分	
	利用・提供区分	提供	
	利用件数	総利用件数	1
	共同利用・共同研究者利用件数(内数)	0	

資料名		価値	資料の概要
4	防災研究所年報		防災研究所の論文集(昭和 26 年度～)
	保有数／利用・提供状況	令和4年度	
	保有数	4,963	
	利用・提供区分	提供	
	利用件数	総利用件数	38,527
	共同利用・共同研究者利用件数(内数)	0	
資料名		価値	資料の概要
5	共同研究成果資料		防災研究所で実施された共同研究成果資料の一部公開
	保有数／利用・提供状況	令和4年度	
	保有数	714	
	利用・提供区分	提供	
	利用件数	総利用件数	8,991
	共同利用・共同研究者利用件数(内数)	0	

※資料の内容や保有数等において、世界／国内最高クラスに学術的価値が高い資料の場合は、「価値」欄に○(世界最高)、△(国内最高)を記入

○データの作成・公開状況

	データ名	価値	蓄積情報の概要	公開方法	
1	自然災害データベース		自然災害は種々の形態を持ち、それに関連する学問も非常に多岐に渡っている。他の分野の研究者にとっても有効な情報となるよう、本データベースでは、各地区の自然災害研究グループが収集・整理してきた自然災害に関する資料を統一フォーマットの基で統合しデータベース化している。従来システムの老朽化に伴い、令和3年度より新システムによる運用を開始した。	インターネットによる一般公開	
	蓄積量／利用・提供状況	令和4年度			
	蓄積量	121,261			
	利用 件数	総利用件数	1,048		
		共同利用・共同研究者利用件数(内数)	0		
2	災害史料データベース		歴史史料には、過去に発生した地震やその他の災害の記録がたくさん残されているが、史料とひとこと言ってもその量は膨大であり、しかも現代語で書かれているわけではない。そこで、種々の歴史書からの災害に関する記事から記載を抽出する共に、その現代語訳を付けたものをデータベース化し公開している。従来システムの老朽化に伴い、令和3年度より新システムによる運用を開始した。	インターネットによる一般公開	
	蓄積量／利用・提供状況	令和4年度			
	蓄積量	13,632			
	利用 件数	総利用件数	719		
		共同利用・共同研究者利用件数(内数)	0		
	データ名	価値	蓄積情報の概要	公開方法	

3	地磁気データ		蔵柱観測室(岐阜県高山市上宝)、宿毛観測室(高知県宿毛市)においてフラックスゲート磁力計を用いて収録した地磁気 3 成分データである。	利用申請に基づき、研究者へのデータの提供。令和 4 年度より過去のデータを含めて公開を開始した。
	蓄積量／利用・提供状況		令和4年度	
	蓄積量		365 日	
	利用 件数	総利用件数	1	
共同利用・共同研究者利用 件数(内数)		1		

施設・設備の概要

京都大学防災研究所（自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点）

地震時地すべり再現試験機

施設・設備の概要

地震時地すべり再現試験機は鉄のせん断箱を有する地震時地すべり再現試験機（2台）と可視型地震時地すべり再現試験機の合計 3 台からなる。最高せん断速度3m/s、最大垂直応力4MPa、載荷波形最大周波数5Hzの世界最高性能のリングせん断型試験機である。

主な用途

地震時、豪雨時、クレープ等、あらゆる地すべりのせん断面の状態を再現し、地すべりの発生・運動を予測することが可能な試験機である。また、断層ガウジの形成過程や内部構造に関する研究も実施できる。

利用状況等

設置年月日：平成7年3月31日；平成8年3月28日；
 平成14年3月29日（3台を順次設置）
 導入経費：117,111（千円）（うち国費：117,111（千円）
 うちその他：0,000（千円））
 運転経費：4,550（千円）/年（光熱水料、整備・運転に係る
 人件費、備品費含む）

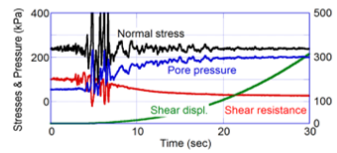
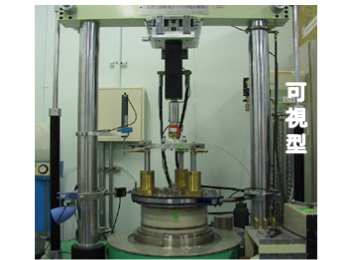
<利用の状況（令和4年度）：3台での合計>

- ・実稼働実績：合計 329 日（7900 時間）、稼働率 57.1%
- ・学内研究：5880 時間（8課題）、年間使用人数 96 名
- ・共同研究：2020 時間（6課題）、年間使用人数 10 名
- ・主な利用機関：京都大学大学院理学研究科、新潟大学など
- ・その他特徴的な利用方法等：国内外からの依頼研究も多い

<今後の計画>

日本国内の数多くの大学や研究機関と連携して、共同研究を推進する。また、海外の研究者・技術者、国内研究機関、行政機関との共同実験と成果の公開を通じ、社会貢献も目指す。

イメージ図



地震波を用いた地すべり再現実験結果

施設・設備の概要

京都大学防災研究所（自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点）

宇治川オープンラボラトリー

施設・設備の概要

宇治川オープンラボラトリーは、水理学・土砂水理学関連の実験施設としては世界最大規模を誇り、実験水路・施設の数のみならず、実際に近い津波を再現し得る装置や実スケールの階段歩行水路等を有するなど、施設・設備の独自性においても世界有数のものが集積している。

主な用途

数多くの世界最高水準の実験研究成果が生み出されている。また、実験施設を利用した防災教育にも活用されており、研究・教育拠点としても大いに機能している。

利用状況等

設置年月日：昭和28年8月1日
 導入経費：4,293,506（千円）（うち国費：4,293,506（千円）
 うちその他：0,000（千円））
 運転経費：23,009（千円）/年（光熱水料、整備・運転に係る
 人件費、備品費含む）

<利用の状況（令和4年度）>

- ・実稼働実績：合計のべ時間1,920時間、稼働率 100%
- ・学内研究：743時間（14課題）、年間使用人数 588名
- ・共同研究：1,115時間（6課題）、年間使用人数 1489名
- ・主な利用機関：京都大学大学院農学研究科、(株)ニュージエック
- ・その他特徴的な利用方法等：学部授業の一環として施設の一部を利用している他、高校生向けの体験学習や、消防・警察の救助訓練などに利用している。

<今後の計画>

・宇治サブキャンパスとしてのミッションを果たすべく、大学の研究成果の発信や研修・体験学習の実施など、研究・教育拠点としての機能を強化する。

イメージ図



資料・データの概要

京都大学防災研究所（自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点）

桜島火山ボーリングコア

資料・データの概要

桜島では、多数のボーリングによる掘削が行われてきた。京都大学が実施した掘削ではすべての深度において可能な限りサンプリングを行っており、総延長2400mのボーリングコアが蓄積されている。大半は桜島を形成するときに噴出した溶岩であるが、桜島形成以前の火砕流の堆積物なども含まれる。ボーリングコアサンプルの提供も可能である。また、ボーリングに付随した柱状図、地温分布などのデータの提供も可能である。

主な用途

桜島火山の形成期やそれ以前の噴火活動の研究に用いることができる。

利用・提供状況等

提供(公開)開始年月：平成10年4月11日
 保有数(蓄積量)：平成30年度 11、令和元年度 11
 令和2年度 11、令和3年度 11
 令和4年度 12

<利用件数、利用・提供区分>

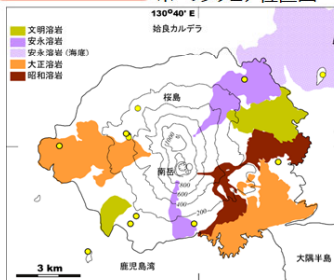
平成30年度：0(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)
 令和元年度：1(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)提供
 令和2年度：0(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)
 令和3年度：0(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)
 令和4年度：0(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)

<今後の計画>

コア箱の傷みが進んでいるので、随時、改修を進めている。また、提供を受けた岩石サンプルもデータベースに追加するなど整備を進める。

イメージ図

ボーリングコア位置図



資料・データの概要

京都大学防災研究所（自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点）

桜島の爆発映像等

資料・データの概要

桜島火山などの爆発的噴火が発生した時の動画や静止画である。特に、桜島の爆発活動が活発であった1980～1990年代の噴火については、ビデオ画像が他にはほとんど存在しないので、貴重なデータベースとなっている。また、桜島以外にも、九州の活火山の噴火やインドネシアの活火山の噴火や災害に関する画像も所有している。代表的なものはHPからダウンロードできるが、それ以外のデータの提供については直接問い合わせしてほしい。

主な用途

一般向けの講義や様々な防災教育活動等の資料に活用できる。また、画像データが時刻情報も持っているので、研究者が他の観測項目と時刻の照合をすることが可能である。

利用・提供状況等

提供(公開)開始年月：平成10年4月1日
 保有数(蓄積量)：平成30年度365日分、令和元年度365日分、
 令和2年度365日分、令和3年度365日分、
 令和4年度365日分

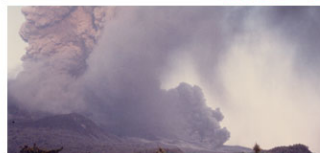
<利用件数、利用・提供区分>

平成30年度：1(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)、提供
 令和元年度：1(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)、提供
 令和2年度：1(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)、提供
 令和3年度：4(うち共同利用・共同研究者利用件数 1)、提供
 令和4年度：1(うち共同利用・共同研究者利用件数 0)、提供

<今後の計画>

資料の蓄積をすすめる。

イメージ図



6.5.4 サイエンスコミュニケーター（SC）の養成

新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、令和 2 年度・令和 3 年度ともに活動休止していたが、令和 4 年度より再開。

◆SC 養成講座の開催実績（令和 4 年度）

- ・第 9 回 SC 養成講座（2022 年 5 月 23 日） 7 名認定

◆見学前の SC との打合せ・練習などの準備会開催実績（令和 4 年度）

- ・令和 4 年度計 1 回開催（4 人参加）

6.6 社会貢献活動

6.6.1 講演会・研修会・セミナー・総合学習・教員研修担当一覧（小・中・高校など） 令和 4 年度

氏名	タイトル	主催者・発行元	開催日
井口 正人	砂防学会研究発表会（宮崎大会）	砂防学会	2022/05/11
井口 正人	応用力学シンポジウム	土木学会	2022/05/27
井口 正人	九州土砂災害対策懇談会	九州地方整備局	2022/06/01
井口 正人	震災対策技術展講演	「震災対策技術展」事務局 / エグジビションテクノロジー株式会社	2022/06/16
井口 正人	南西諸島火山観測	第 10 管区海上保安本部	2022/07/27
井口 正人	キャンプ砂防 2022	国土交通省	2022/08/23
井口 正人	桜島火山大規模噴火の全国的な影響	一般社団法人 日本旅行医学会	2022/09/25
井口 正人	桜島火山爆発総合防災訓練（図上訓練）	鹿児島県	2022/09/27
渦岡 良介	災害対応（中級/災害査定）研修「未災の地盤—それは想定外ではない—」	国土交通省近畿地方整備局	2022/06/22
後藤 浩之	豊中市立新田小学校 出前授業「地しんの大きさを測ろう」	関西地震観測研究協議会 地震防災教育 WG	2023/01/17 ～2023/01/18
佐山 敬洋	気候関連情報開示（TCFD 等）における物理的リスク評価	国土交通省	2022/12/01 ～2023/03/31
竹林 洋史	流砂及び土石流（1）	（公社）砂防学会	2022/05/13
竹林 洋史	第八回 豪雨による土砂災害研究会		2022/06/10
竹林 洋史	第 16 回水工学オンライン講演会	土木学会委員会委員会	2022/07/05
土井 一生	特別授業「地震災害・地震防災」	滋賀県立膳所高等学校	2023/01/27
西嶋 一欽	「最強」台風 3 連休直撃	読売新聞西部本社	2022/09/18
西村 卓也	GNSS データを用いた西南日本の地殻内大地震の定常予測モデル	地震・火山噴火予知研究協議会、東大地震研広報アウトリーチ室	2022/05/10
西村 卓也	地震のメカニズムと日本列島及び山陰地方で発生する地震の特徴について	鳥取県教育委員会	2022/10/21
西村 卓也	GNSS データが示す過去 30 年間の日本列島の地殻変動	日本技術士会応用理学部会	2022/10/28
西村 卓也	複数 GNSS 観測網の統合解析に基づく能登半島群発地震に伴う地殻変動	電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会	2022/11/07
西村 卓也	宮崎県周辺の地殻変動と日向灘・南西諸島海溝周辺で発生する地震について	テレビ宮崎	2022/11/16
畑山 満則	株式会社構造計画研究所 KKE Vision 2022		2022/06/02
畑山 満則	大阪府立天王寺高等学校 2 年生対象の	大阪府立天王寺高等学校	2022/06/03

	京大研修会		
畑山 満則	地域に必要な自主防災力について	あかしあ台まちづくり連絡協議会	2022/06/12
畑山 満則	虎姫高校スーパーサイエンスハイスクール(SSH)		2022/08/18
畑山 満則	京都府議会 8 月閉会中京都府議会危機管理・建設交通常任委員会における意見陳述		2022/08/19
畑山 満則	Utilization of AI in Disaster Response	Incheon Metropolitan City Republic of Korea/The Incheon Institute/ONEA & GETI UNDRR	2022/09/28
畑山 満則	想定を超える災害に備えるための情報の読み解き方	住吉呉田まちづくりの会	2022/10/02
畑山 満則	災害初動時の地理空間情報活用	国土交通省 国土交通大学校	2022/11/09
畑山 満則	大規模災害時の通信環境と事業継続 KDDI 通信障害からどのような教訓を得ることができるか	株式会社新建新聞社	2022/12/15
畑山 満則	FP のための災害の現状と防災	NPO 法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会	2023/03/04
堀 智晴	電源開発株式会社令和 2 年 7 月豪雨における瀬戸石ダム出水対応に関する有識者ヒアリング	電源開発株式会社	2020/11/06 ~2022/09/30
宮田 秀介	第 16 回若手砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会	砂防学会	2022/10/12
山本 圭吾	次世代火山研究者育成プログラム	文部科学省	2023/03/12 ~2023/03/17

6.6.2 学術指導

令和 4 年度

依頼者	指導担当者	指導題目	指導料 総額
東京海上ディーアール株式会社	西嶋 一欽	非公開	非公開
株式会社大林組	非公開	非公開	非公開
応用地質株式会社	多々納 裕一	自然災害による経済損失の予測手法に関する研究	非公開
クボタ環境エンジニアリング株式会社	佐山 敬洋	排水機場操作支援のための水位予測シミュレーター指導業務委託	1,430,000
株式会社東京建設コンサルタント	佐山 敬洋	RRI モデルを用いた洪水予測システム、流出モデルの改良	500,000
パシフィックコンサルタンツ株式会社	松四 雄騎	那智川流域における表層崩壊メカニズムの調査に関する技術指導	非公開
京都府	牧 紀男	地震被害予測と危機対応について	10,000
京都府	松島 信一	地震被害予測と危機対応について	10,000
京都府	西野 智研	地震被害予測と危機対応について	10,000

※その他、全項目非公開 3 件

6.6.3 マスメディアを通じての活動

令和 4 年度

氏名	記事・番組名	掲載メディア	掲載・出演日
飯尾 能久	京都府南部でなぜ震度 4 の地震が起きたのか 研究者に聞く大地震の可能性	京都新聞	2022/04/01
飯尾 能久	京都・大阪府境で続く不思議な地震 背景に名湯と似た仕組み？	朝日新聞	2022/04/29
飯尾 能久	京都周辺で頻発 震度 3 以上の地震のナゼ キーワードは「温泉」？ 南海トラフとの関連は	関西テレビ	2022/05/10
飯尾 能久	つながる神戸から 最近の内陸地震について	ラジオ関西	2022/05/11
飯尾 能久	京都府内で相次ぐ地震	京都新聞	2022/05/12
飯尾 能久	京都南部で地震が頻発するワケ「有馬温泉の仕組み」がカギ 南海トラフとの関連は？ 専門家が解説	朝日放送テレビ	2022/05/13
飯尾 能久	なぜ?京都周辺で震度 3 以上の地震が頻発 キーワードは「温泉」？南海トラフとの関連は	FNNプライムオンライン	2022/05/14
飯尾 能久	「京都府南部で相次ぐ地震活動」	NHK	2022/05/17
飯尾 能久	京都南部で地震頻発 いったい何が？ その時、どうする？	テレビ大阪	2022/05/26
飯尾 能久	京都府南部で震度 4～3 の地震頻発、なぜ？… 「研究者から見ると特異な現象」	読売新聞オンライン	2022/05/29
飯尾 能久	近畿の内陸で起こる地震について	毎日放送 TV	2022/06/17
飯尾 能久	直下型地震への備え必要	読売新聞	2022/06/27
飯尾 能久	地震空白域危険認識を	京都新聞	2023/02/11
飯尾 能久	「満点の観測」市民もサポート	朝日新聞	2023/03/20
飯尾 能久	トルコ地震について	日本テレビ	2023/03/20
井口 正人	トカラ列島に航空便復活 鹿児島 8 月にも活性化など期待	毎日新聞	2022/04/09
井口 正人	始良カルデラ マグマ蓄積 10～18 立方キロ 京大研推計 大正噴火噴出の 10 倍	南日本新聞	2022/04/29
井口 正人	憂楽帳 マグマの蓄積	毎日新聞	2022/06/01
井口 正人	諏訪之瀬島 警戒レベル 2 に下げ 噴火 1 キロ超飛散弱まる	南日本新聞	2022/07/12
井口 正人	『大規模噴火兆候なし』 冷静な対応呼びかけ 国交相「現場力を最大限發揮して」 特定災害対策会議	南日本新聞	2022/07/26
井口 正人	口永良部警戒レベル 2 へ上げ 2 カ月ぶり火山性地震が増加 桜島で爆発続く	南日本新聞	2022/08/01
井口 正人	桜島警戒レベル 5 見えた課題 情報共有、周知が不十分 専門家「飛散距離に疑問」	南日本新聞	2022/08/03
井口 正人	噴出の激しさと定義 使い分けは県内のみ 「噴火」と「爆発」どう違う？	南日本新聞	2022/08/18
井口 正人	桜島、課題残した「警戒レベル 5」 ごく普通の噴火 防災対応区分を 万が一に備えて	産経新聞	2022/09/04
井口 正人	桜島大噴火に備え県庁で図上訓練 25 機関が参加	南日本新聞	2022/09/28
伊藤 喜宏	特集「研究を防災に」 地震学者の思い「南海トラフ：」 成果を防災に生かす 地震研究者の思い	NHK 総合	2023/03/02

伊藤 喜宏	The focus "Clue found for predinting quakes" Ehnancing quake prediction and preparadness"	NHK world	2023/03/24
大見 士朗	焼岳、噴火警戒レベル 2 に引き上げ 山頂付近で 緩やかな膨張続く (コメント掲載)	岐阜新聞	2022/05/25
大見 士朗	焼岳 噴火警戒レベル 2 から 1 週間 専門家「当面 注意が必要」 (個別取材)	NHK 長野 (長野県 版)	2022/05/31
大見 士朗	焼岳はどんな状態なのか? 地震や噴気で地下に 迫る<山と人と信州と> (個別取材)	信濃毎日新聞	2022/06/10
大見 士朗	焼岳警戒レベル 1 に 長期的に高まっているとさ れる火山活動 レベル運用に課題も (コメント掲 載)	信濃毎日新聞	2022/07/13
倉田 真宏	トルコ大地震で続発「パンケーキ崩壊」過去に も被害、リスク共有は	産経新聞	2023/02/16
佐山 敬洋	人吉医療センター・京大・清水建設、病院特化 の水害タイムラインを作成	日本経済新聞	2022/05/23
佐山 敬洋	いつ逃げる? どこへ逃げる? 新・全国ハザード マップ 水害リスクを総点検	NHK	2022/06/09
佐山 敬洋	公共施設の防災・減災に力	日経産業新聞社	2022/08/31
志村 智也	地球温暖化は海の「波浪気候」を変えてしまう	東京大学海洋アライア ンス	2022/07
志村 智也	南半球の波浪、温暖化で強く 京大など予測、海 岸浸食リスク	日本経済新聞	2022/07
竹林 洋史	下流域被害まで 1 時間半 証言や専門家分析で判 明 熱海土石流	静岡新聞	2022/05/26
竹林 洋史	明日をまもるナビ	NHK	2022/06/05
竹林 洋史	令和 3 年熱海市伊豆山で発生した災害を学ぶ	新建新聞社	2022/06/18
竹林 洋史	熱海土石流 1 年 小規模土石流 8 回発生、下流域 到達まで 5 0 分	産経新聞	2022/07/02
竹林 洋史	現場に急ぐ研究者⑤	朝日新聞	2022/07/10
竹林 洋史	現場に急ぐ研究者③	朝日新聞	2022/07/28
竹林 洋史	土砂災害「警戒区域外も注意」 京都大防災研、 広島で公開講座	中国新聞	2022/10/04
竹見 哲也	台風 4 号で線状降水帯、気象庁システムは初の 予測できず…進路変わりやすく「見逃し」	読売新聞社	2022/07/05
竹見 哲也	前線が南下、大量の水蒸気流れ込む…福井・滋 賀記録的大雨のメカニズム	読売新聞社	2022/08/05
竹見 哲也	東北・北陸、線状降水帯が広域で頻発 避難対象 54 万人	日本経済新聞社	2022/08/05
竹見 哲也	ゲリラ豪雨 7~9 月 1.4 倍 昨年比、民間が発生予 測 土砂崩れ・浸水に注意	日本経済新聞社	2022/08/17
竹見 哲也	各地で大雨 異例の夏 海面水温上昇と前年の南下 要因	読売新聞社	2022/08/20
竹見 哲也	「藤原の効果」に注意を 1 1 号接近、2 つの台 風が相互作用も	産経新聞社	2022/09/01
中野 元太	日本の災害 知って備えて 松山で国際防災教育プ ログラム	愛媛新聞	2022/05/15
中野 元太	Destacan importancia de la prevención en un foro sobre terremotos y tsunamis	El Sur	2022/05/17
中野 元太	高知県での防災教育の取り組みについて	ABS 秋田放送	2022/05/27
中野 元太	Protección Civil Municipal gestiona y trae ponencia sobre prevención de sismos y tsunamis	Despertar de la Costa	2022/07/26

中野 元太	BOSAI 中南米・岩手重なる教訓	岩手日報	2023/01/28
中野 元太	【京大防災研から】学校での防災教育…これならすぐにでも始められる	読売新聞	2023/02/27
中野 元太	地震予測に挑む ある地震学者の思い	NHK	2023/03/02
中道 治久	そなえるラジオ ～今だからこそ知りたい、桜島のこと～	エフエム鹿児島	2022/09/04
中野 元太	南海トラフ巨大地震 “若いチカラ” が命を救う	NHK	2023/03/10
西嶋 一欽	京大開発「台風VR」 “体験きっかけに危機意識を	NHK 和歌山放送局	2022/08
西嶋 一欽	” 激甚化 “する台風 常識超えた警戒を	読売テレビ	2022/09/10
西嶋 一欽	京大防災研ら招き 瓦屋根被害の低減勉強	日本屋根経済新聞	2023/02/08
西野 智研	避難の手段 複数確保へ 外付けはしご・退避スペース 北新地放火半年	読売新聞	2022/06/18
西野 智研	老朽ビル、一部改修容認へ 防火規制不適合巡り 検討会	日本経済新聞	2022/06/21
西村 卓也	地下の流体揺れ誘発か	毎日新聞社	2022/06
西村 卓也	能登半島の地震について	NHK	2022/06/20
西村 卓也	能登半島の地震について	テレビ朝日	2022/06/20
西村 卓也	能登半島の地震について	テレビ朝日	2022/06/20
西村 卓也	続く地震断層に水原因か	朝日新聞社	2022/06/21
西村 卓也	石川県珠洲市の地震 キーワードは「流体」	TOKYO FM	2022/06/25
西村 卓也	地震…県内は大丈夫？	福井テレビ	2022/06/26
西村 卓也	石川・能登や京都府南部 なぜ地震が続く？	MBS ラジオ	2022/07/10
西村 卓也	群発地震 上昇した水に注目	朝日新聞社	2022/07/26
西村 卓也	日向灘震源の M7～7.5 程度の地震 30 年以内に約 80% の確率で発生 防災ネットワーク会議 宮崎	テレビ宮崎	2022/11/16
西村 卓也	阪神・淡路大震災より切迫 危険度” 最高ランク” の活断層とは 西日本は「地震活動期」	中国放送	2023/03/10
畑山 満則	いつ発動?命まもる「避難スイッチ」 自主防災活動、隔地で活発化	産経新聞	2022/10/26
藤原 圭太	梅雨 九州南部の降水量… 4 年周期 激しく増減、九大など研究	読売新聞オンライン	2022/08
藤原 圭太	梅雨期の降水量、4 年周期で急増→急減 その背景は？ 九州南部	毎日新聞	2022/10
宮田 秀介	栃尾小児童が土砂防災学ぶ	岐阜新聞	2022/06/02
山崎 新太郎	桧原湖の水底遺跡	NHK 等	2022
山下 裕亮	日向灘で M8 級地震発生の可能性 外所地震の研究進む	MRT 宮崎放送	2022/04/01
山下 裕亮	日向灘地震「M8 級」予想	読売新聞社	2022/04/10
山下 裕亮	新燃岳の最新状況は？ 専門家に聞く	NHK 宮崎放送局	2022/04/11
山下 裕亮	研究 M8 級巨大地震の可能性 過去を知り将来に備える 日向灘地震	UMK テレビ宮崎	2022/04/14
山下 裕亮	「日向灘地震」と「南海トラフ地震」	MRT ラジオ	2022/05/15
山下 裕亮	日向灘で「マグニチュード 8 級」巨大地震の可能性 18 年ぶりに規模見直し…研究の最前線	FNN プライムオンライン	2022/05/18
山下 裕亮	南海トラフ地震と日向灘地震へ備えを 最前線に立つ警察官に京大防災研の専門家が講演	MRT 宮崎放送	2022/06/14
山下 裕亮	外所地震 特徴・教訓は	宮崎日日新聞社	2022/08/26

山下 裕亮	地域と学校が一体となり備える 宮崎市の小学校で防災教室	UMK テレビ宮崎	2022/08/30
山下 裕亮	防災の日 宮崎市の内海小学校で避難訓練	UMK テレビ宮崎	2022/09/01
山下 裕亮	内海小学校 津波から命を守る取り組み	UMK テレビ宮崎	2022/09/04
山下 裕亮	浸水域をアプリで確認 小学校で防災マップ作り	NHK 宮崎放送局	2022/11/11
山下 裕亮	「外所地震」M8 クラスだった可能性 加江田川河口で 10m津波も	MRT 宮崎放送	2023/01/11
山下 裕亮	【京大・産総研】1662年日向灘地震の新たな断層モデルを構築ー地球物理学と地質学の検証に基づく初の成果ー	株式会社官庁通信社	2023/01/11
山下 裕亮	1662年「外所地震」M7.9か京大・山下助教らが津波堆積物確認し証明	宮崎日日新聞社	2023/01/11
山下 裕亮	1662年「外所地震」M7.9か京大・山下助教ら研究グループが津波堆積物確認し証明	宮崎日日新聞社	2023/01/11
山下 裕亮	1662年日向灘地震 M8 級の可能性	西日本新聞社	2023/01/11
山下 裕亮	1662年日向灘地震の新たな断層モデルを構築	株式会社 バイオインパクト	2023/01/11
山下 裕亮	1662年日向灘地震の新たな断層モデルを構築	つくばサイエンスニュース	2023/01/11
山下 裕亮	宮崎市で 10m程度の津波とのシミュレーションも「外所地震は M8 級巨大地震の可能性」京大などのグループが発表	TBS	2023/01/11
山下 裕亮	江戸期の日向灘地震は M8 級 研究グループ「今後も起こる可能性」	産経新聞社	2023/01/11
山下 裕亮	江戸時代の巨大地震「外所地震」マグニチュード 8 クラスの可能性	Fuji News Network	2023/01/11
山下 裕亮	日向灘で M8 級大地震も 専門家” 備えて欲しい”	NHK 大分放送局	2023/01/11
山下 裕亮	日向灘地震 M8 級か 1662 年発生、京大など発表	長崎新聞社	2023/01/11
山下 裕亮	日向灘地震、M8 級だったか	毎日新聞社	2023/01/11
山下 裕亮	約 360 年前の「外所地震」M8 クラスの巨大地震だったか	NHK 宮崎放送局	2023/01/11
山下 裕亮	約 360 年前の外所地震 「M8」クラスだった可能性	NHK 宮崎放送局	2023/01/11
山下 裕亮	「1662年日向灘地震」M8 級か京大助教ら最新研究成果	朝日新聞社	2023/01/12
山下 裕亮	「1662年日向灘地震」は M8 級の巨大地震か京大助教ら研究結果	朝日新聞社	2023/01/12
山下 裕亮	「外所地震」最大津波 10メートル超 従来想定 の 2 倍 日向灘の防災対策に	読売新聞社	2023/01/12
山下 裕亮	日向灘震源の外所地震 M8 級であった可能性	UMK テレビ宮崎	2023/01/14
山下 裕亮	1662 年の外所地震ーM8 級の可能性	夕刊デイリー	2023/01/17
山下 裕亮	1662 年日向灘地震、M7.9 の可能性 京大など断層モデルで再評価	日刊工業新聞	2023/01/17
山下 裕亮	日向灘で M8 級の地震可能性 京大などのグループ発表	西日本新聞社	2023/01/18
山下 裕亮	「1662年日向灘地震」は M8 に迫る巨大地震か京大防災研など新見解	科学新聞社	2023/01/20
山下 裕亮	日向灘で M8 級の地震可能性 1662 年は津波が 10メートル超の試算	西日本新聞社	2023/01/25

山下 裕亮	江戸時代の外所地震 M7.9 の巨大地震だった可能性	UMK テレビ宮崎	2023/02/11
山下 裕亮	Was the 1662 Hyuga-nada Earthquake a massive earthquake of nearly M8? Kyoto University DPRI, AIST and HRO offer a new perspective through A tsunami simulation created by a new fault model	国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) アジア・太平洋総合研究センター	2023/02/17
山下 裕亮	九州・沖縄 地震コレダケハ!	NHK (九州・沖縄)	2023/03/10
山下 裕亮	九州・沖縄 地震コレダケハ!	NHK (九州・沖縄)	2023/03/12
山下 裕亮	「臨時情報」正しい対応を	読売新聞社	2023/03/27
矢守 克也	人間が複合災害つくる	共同通信岩手新聞、山形新聞、静岡新聞、信濃毎日新聞、福井新聞、高知新聞、日本海新聞、山口新聞 (10/23)、山梨日日新聞、愛媛新聞 (10/24)、京都新聞、中国新聞 (10/25)、下野新聞 (10/26)、岐阜新聞 (10/29)、茨城新聞 (11/6)、西日本新聞 (11/1)、宮崎日日新聞 (11/21)	2022/10
矢守 克也	知っておこう過去最大値	西日本新聞	2022/11
矢守 克也	最近の地震・津波防災について考える	NHK 関西	2022/04/07
矢守 克也	災害の備えを見直す	NHK-FM 和歌山	2022/04/08
矢守 克也	夜間の防災訓練	読売新聞 (福岡)	2022/04/13
矢守 克也	熊本地震 6 年: 被災者の「現在地」確認を		2022/04/14
矢守 克也	相次ぐ地震、過去の教訓どうかす	京都新聞	2022/04/24
矢守 克也	ウィズ災害との覚悟を (共同通信)	山形新聞、信濃毎日新聞、福井新聞、日本海新聞、山口新聞 (4/24)、河北新報、山梨日日新聞 (4/25)、京都新聞、中国新聞 (4/26)、下野新聞、山陰中央新報 (4/27)、北海道新聞、神戸新聞、愛媛新聞 (4/28)、岐阜新聞、長崎新聞 (4/30)、静岡新聞、高知新聞 (5/1)、岩手日報、茨城新聞 (5/8)、西日本新聞 (5/10)、熊本日日新聞	2022/04/25
矢守 克也	クイズで学ぶ災害対策の基本	NHK	2022/05/15
矢守 克也	相次ぐ地震、備えどうする?	NHK 広島ニュース	2022/05/17

矢守 克也	防災ソング「こわがりヒーロー」	NHK 佐賀ニュース	2022/05/23
矢守 克也	土砂災害から住民を守る センサーで斜面の動き感知 2	両丹日日新聞	2022/05/27
矢守 克也	記者解説：水害から命を守る	NHK	2022/06/14
矢守 克也	雨期防災：「逃げ遅れ」防ぐために	南日本放送	2022/06/15
矢守 克也	寄り添う津波予測、進化中	朝日新聞	2022/06/18
矢守 克也	水害から命と暮らしを守る：みんなで助かるために	NHK	2022/06/22
矢守 克也	防災ソング「こわがりヒーロー」	NHK 関西ラジオワイド	2022/06/23
矢守 克也	住民避難に資する情報を	河北新報	2022/06/29
矢守 克也	水害から命と暮らしを守る：個別避難計画 2022/7/5	NHK	2022/07/05
矢守 克也	降水帯予報精度の壁	読売新聞	2022/07/07
矢守 克也	チャレンジ！BOSAI アクションキックオフ	NHK	2022/07/24
矢守 克也	「前例なき豪雨に備えよう」（共同通信）	高知新聞	2022/07/31
矢守 克也	災害大国「いざ動くために自分事に」	朝日新聞	2022/08/01
矢守 克也	この夏 防災について子どもに伝えたいこと～防災のデジタルイベントの取り組みから～	NHK 関西ラジオワイド	2022/08/02
矢守 克也	地区防災計画 4つの誤解とホント	NHK 関西ラジオワイド	2022/08/02
矢守 克也	「空振り」恐れず行動を	中日新聞	2022/08/16
矢守 克也	チャレンジ！BOSAI アクションキックオフ	NHK	2022/08/28
矢守 克也	「早めに避難」スマホが役立つ	読売新聞	2022/09/01
矢守 克也	正しく恐れ、未来へ行動	産経新聞	2022/09/01
矢守 克也	「過去最強クラス」と呼ばれた台風 14 号「避難が無駄だったと思わないで」	南日本放送	2022/09/22
矢守 克也	シェアしよう！ みんなの防災～地域の助け合いを新たな力に～	NHK ラジオ	2022/09/24
矢守 克也	チャレンジ！BOSAI アクション 第 2 弾	NHK	2022/10/09
矢守 克也	高齢者を災害から守る	毎日放送	2022/10/09
矢守 克也	2022 年新語・流行語で振り返る災害この一年	NHK 関西ラジオワイド	2022/10/13
矢守 克也	複合災害	NHK 関西ラジオワイド	2022/10/13
矢守 克也	南海地震確率 70-80%	高知新聞	2022/10/18
矢守 克也	素振りのつもりで早期避難！岡山県の防災動画が高齢者にささった理由	読売新聞防災情報サイト	2022/10/21
矢守 克也	避難スイッチ、普段から意識	朝日新聞（長野）	2022/11/02
矢守 克也	防災 多様な視点不可欠	読売新聞（高知）	2022/11/06
矢守 克也	事前復興、人口減防げ	読売新聞（高知）	2022/11/11
矢守 克也	事前復興 黒潮で始動：自治体と住民本格協議、県内初	読売新聞（高知）	2022/11/23
矢守 克也	セカンドベストに注目 「巨大な津波：寒さも敵、大地震から身を守るための方法	AERA	2022/11/28
矢守 克也	大切なのは 99 回の素振り：後発地震情報 16 日スタート	毎日新聞	2022/12/15
矢守 克也	「地震臨時情報」どう対応？	読売新聞（高知）	2022/12/21
矢守 克也	多すぎる気象・災害情報	読売新聞	2023/01/13

矢守 克也	震災のバトン	NHK	2023/01/15
矢守 克也	阪神・淡路大震災 28 年	MBS ラジオ	2023/01/17
矢守 克也	防災フォーラム「オールジャパンで取り組む防災・減災とは」	産経新聞	2023/01/17
矢守 克也	命を守るため 帰宅困難者対策	産経新聞	2023/01/17
矢守 克也	阪神・淡路大震災 28 年の伝承	NHK 関西ラジオワイド	2023/01/26
矢守 克也	防災教育の拠点に：廃校の中学校再整備	産経新聞	2023/02/20
矢守 克也	プチ移住	NHK 関西ラジオワイド	2023/03/05
矢守 克也	“老老避難”の深刻実態：大地震に備え 訓練で“逃げ遅れ”続出	テレビ朝日	2023/03/09
矢守 克也	黒潮町で南海トラフ地震臨時情報ワークショップ開催	NHK ラジオ	2023/03/12
矢守 克也	関東大震災 100 年 先人の警句 国難級に生かせ	産経新聞	2023/03/20
矢守 克也	語り部 KOBE1995 被災体験伝え「犠牲者減らす」	神戸新聞	2023/03/20
矢守 克也	チャレンジ！BOSAI アクション 第3弾	NHK	2023/03/26
吉村 令慧	研究者間で群発地震の原因とされる・・・石川・珠洲市地下に『流体』存在を確認 専門家「貴重な発見」	石川テレビ	2022/10/24
吉村 令慧	地下に“電気を通しやすい領域”水のような流体か 能登半島地震の群発地震で研究グループが発表	MRO	2022/10/24
吉村 令慧	能登半島地下に流体、地震一因か 京大調査、電気通し易い領域	共同通信	2022/10/24
吉村 令慧	【石川】珠洲の地震震源域 地下に電気通しやすい領域 金沢大など「流体」分布把握へ	北陸中日新聞	2022/10/25
吉村 令慧	石川・珠洲の群発地震原因究明へ 地下で何が？ 京大教授に聞く	石川テレビ	2022/10/28
吉村 令慧	地震活動続く石川・珠洲市周辺 京大等のグループが地下構造の“追加調査”開始	石川テレビ	2022/11/14